

## 昭和57年(1982年)の気象概況

本年は、冬から初夏にかけて順調に経過したが、気温の変動が大きかった。本年の梅雨入りは、平年より5日おくれて6月13日であった。その後前線活動が弱く、空梅雨が心配されたが、7月中旬になって待望の雨が降った。梅雨明けは平年より10日おそい7月27日であった。しかし夏らしい天候とはならず例年に比べ気温が低く、短く涼しい夏であった。台風は8月に10、13号、9月に18、19号が本土に上陸したが幸い本県は直撃をまぬがれた。10月は雨が少なく、11、12月は例年に比べ気温が高かった。

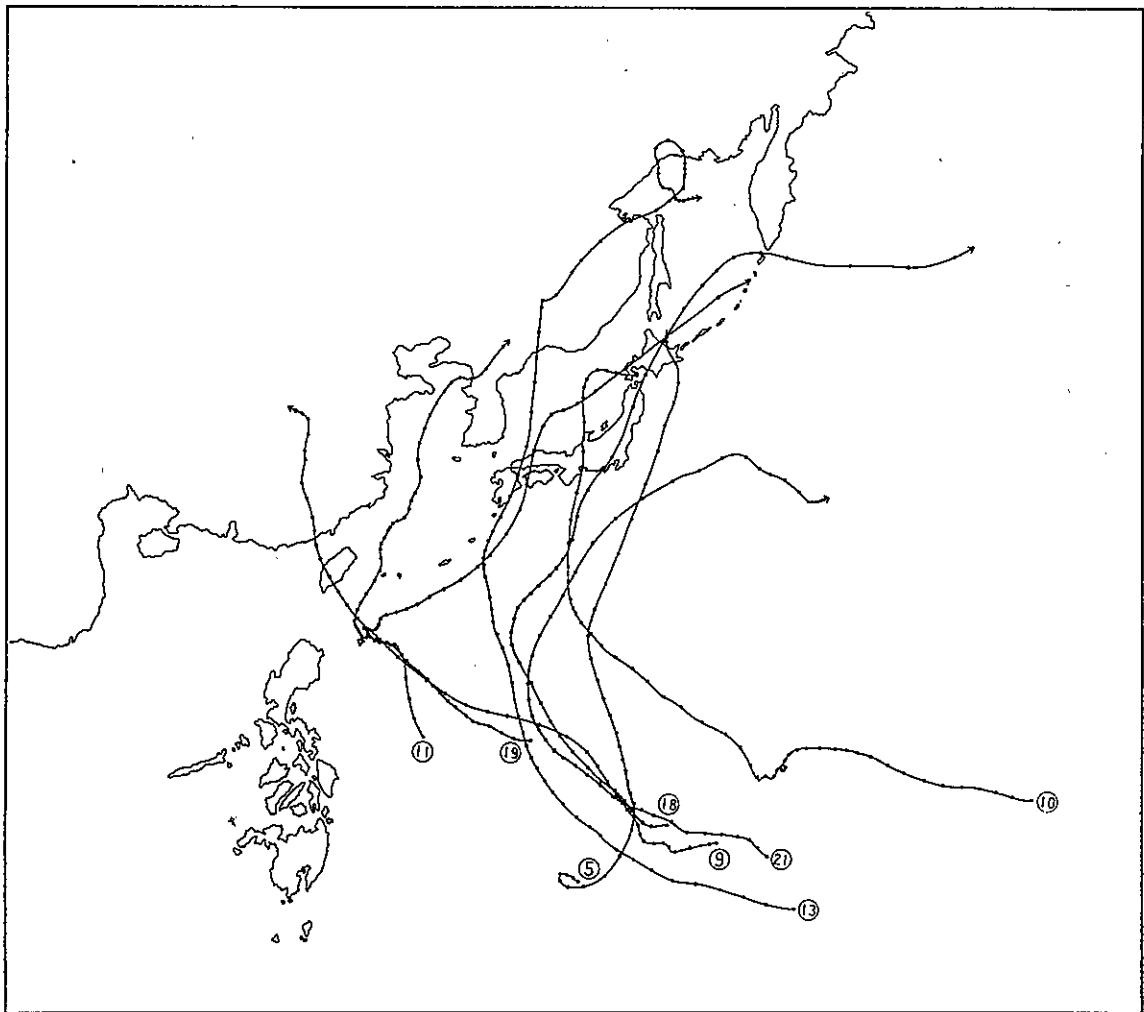
# 1. 台 風

## (1) 台風の概況

本年の台風の発生数は25個で、そのうち10、13、18、19号の4個が上陸した。上陸数は過去10年間では1978年と同数で最も多かった。

日本に接近あるいは上陸して被害をもたらした台風は9個あり、そのうち6個までが北緯30度より北に進んだことが特徴的である。

【日本に影響のあった台風の経路】



【主な台風の概要】

台風番号	10号	11号	13号	18号	19号	21号
最低気圧 (mb)	973.0	968.5	945.4	969.1	977.1	980.8
最大風速(m/秒)	29.9	42.0	33.2	23.8	37.8	26.5

## (2) 災害の状況

## ア. 台風10号(8月1日~2日)

## (ア) 気象の概要

南鳥島の南南東海上で発生した台風10号は、進路を北西から北北西に変えながら31日の午後9時に、父島の西約450kmの海上に達した。勢力は幾分衰えたものの大型の強い台風で、このころから本県でも次第に雨の範囲が広がりはじめた。

その後、大型の強い勢力を保持しながら、翌1日の午前9時には台風の中心が潮岬の南南東約500kmの海上に達した。これに伴い、1日未明から本県では全般に大雨となり、ところどころで1時間に20mmから40mmの強い雨が降った。

台風は、次第に速度を早めながら北に進んで本土に接近し、1日の午後9時には、中心が潮岬の東南東約50kmの海上に達し、夕方からは風も強くなり始めた。その後、台風は、2日午前0時頃には渥美半島西部に上陸したが、その時には大型で並の強さの台風に弱まっていた。

上陸後、北に進むにつれて中心付近の最大風速は弱まり、暴風半径も狭くなっていった。その結果、台風が本県に相当接近しても風はそれ程には強くならなかった。

雨は1日の日中は比較的弱く、強いところでも1時間に10mm程度であったが、台風が本県に最も接近した2日午前0時から3時にかけては再び雨足が強くなり、ところどころで1時間に20mmから30mmの強い雨が降った。

台風は、その中心が2日の午前6時ごろ能登半島付近の海上に抜けたが、台風が本州に上陸した後は、比較的速い速度で移動したため、本県では風雨がわりあい早く収まった。

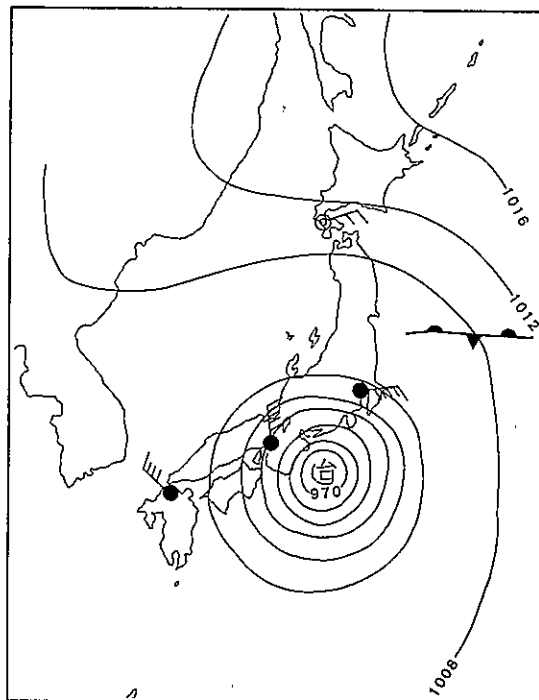
## (イ) 降雨の状況

雨は、7月31日の夜中頃より県下全域にわたって降り始め、翌1日の午前9時には総雨量が鈴鹿山系の政所で104mm、大河原で94mm、田上山地の信楽で132.5mmを記録し、一回目の降雨のピークを迎えた。

台風の移動と連動して雨の区域は南部より北部へ広がり、1日午後11時頃から2日の午前2時頃に二回目の降雨のピークとなった。

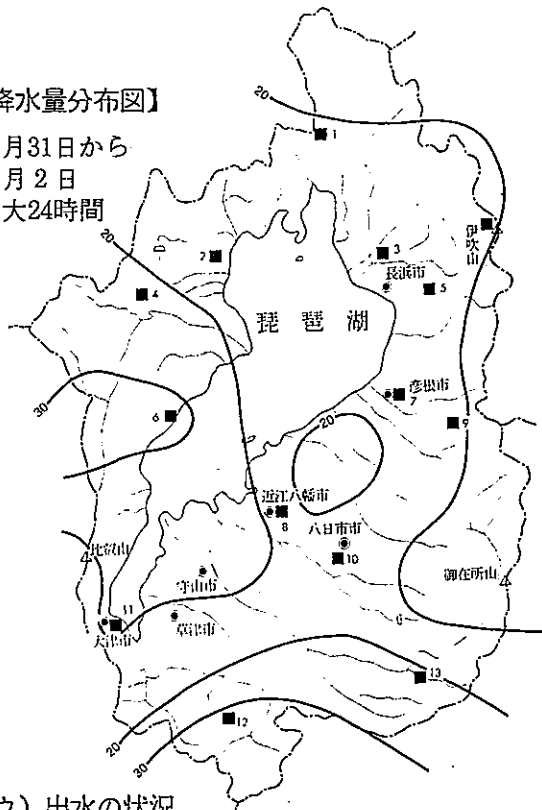
その後、台風の通過した2日午前2時以降には雨は小康状態となり、2日午後6時頃には県下の雨はほぼ止んだが、鈴鹿山系及び田上山地では総雨量が300mmを超え、また、北部を除いた全域では150mmに達した。

【8月1日午後9時の天気図】



【降水量分布図】

7月31日から  
8月2日  
最大24時間



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	1日	2日
1	柳ヶ瀬	77	70
2	今津	98	40
3	虎姫	72	35
4	荒川	144	52
5	春照	101	54
6	北小松	127	41
7	彦根	124	33
8	近江八幡	148	39
9	霜ヶ原	178	58
10	蒲生	174	36
11	大津	155	17
12	信楽	235	22
13	土山	177	36

(ウ) 出水の状況

県下全域で、7月31日の夜中から河川の水位は上昇し、警戒水位を突破する河川が続出した。特に、南部の河川（日野川、柚川、葉山川、大戸川等）の水位上昇は著しく、破堤、溢水等による被害は甚大なものであった。また、道路についても路肩欠損等の被害が続出した。

日野川、柚川を始めとする南部の河川は、2日午前1時から4時の間に警戒水位をはるかに上回る最高水位に達し、葉山川、大戸川においては、ついに破堤、溢水をきたした。

主な河川の最高水位とその起時及び警戒水位は次の通りである。

【主要河川水位表】

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
大戸川	大津市	黒津	2.5	3.12	1日午前0時
草津川	草津市	旭橋	0.8	2.20	1日午後10時
草津川	草津市	山寺橋	0.8	1.80	1日午後10時
大戸川	信楽町	旭橋	2.3	3.50	1日午前0時
大戸川	大津市	黒津	2.5	3.12	2日午前0時
草津川	草津市	旭橋	0.8	2.2	2日午後10時
日野川	近江八幡市	桐原橋	3.0	5.73	2日午前3時
愛知川	愛知川町	御幸橋	1.5	1.81	2日午前4時
姉川	東浅井町	難波橋	2.7	3.09	2日午前8時
余呉川	余呉町	堂木分流点	1.5	1.79	2日午前4時
安曇川	朽木村	船橋	1.7	2.77	2日午前6時
祖父川	竜王町	鶴川橋	1.5	2.28	2日午前2時
柚川	水口町	北柚川橋	3.0	3.62	2日午前1時
宇曾川	彦根市	近鉄橋下流	2.7	3.31	2日午前3時
高時川	木之本町	川合	2.7	2.77	2日午前6時
石田川	今津町	弘川	1.8	1.86	2日午前4時
安曇川	安曇川町	常安橋	1.5	1.7	2日午前3時

## (エ) 気象官署のとした処置

## a. 予警報の発令状況

種 類	発 令 時 刻	解 除 時 刻
大雨雷雨注意報	31日午後10時30分	切替
大雨洪水雷雨注意報	1日午前6時40分	警報に切替
大雨洪水警報	1日午後4時20分	切替
大雨洪水警報	1日午後6時45分	切替
暴風雨洪水警報	1日午後10時	注意報に切替
大雨洪水強風注意報	2日午前5時30分	2日午前7時35分

## b. 気象情報

台風に関する情報	第1号	1日午後8時20分	台風に関する情報	第3号	2日午前3時15分
台風に関する情報	第2号	1日午後11時	台風に関する情報	第4号	2日午前6時30分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	31日午後10時30分	2号体制に切替
第2号警戒体制	1日午後4時20分	1号体制に切替
第1号警戒体制	2日午前5時30分	2日午前7時35分

## (カ) 被害の状況

## a. 住家被害

区分・名称	棟	世帯	人	被 災 市 町 村 (棟,世帯,人)	
住 家 被 害	全 壊	2	2	8	大津市(1,1,5),信楽町(1,1,3)
	半 壊	1	1	3	信楽町
	一部損壊	12	12	54	大津市(3,3,14),栗東町(2,2,14),甲南町(1,1,2),信楽町(4,4,15),日野町(1,1,6),西浅井町(1,1,3)
	床上浸水	120	96	349	大津市(4,4,23),彦根市(1,1,6),近江八幡市(43,28,94),草津市(11,15,41),栗東町(30,30,112),信楽町(9,9,37),安土町(20,7,30),豊郷町(1,1,4),甲良町(1,1,2)
	床下浸水	1,101	1,002	3,762	大津市(87,70,162),彦根市(9,8,33),近江八幡市(360,271,1079),八日市市(67,67,301),草津市(201,209,752),守山市(1,1,4),志賀町(1,1,3),栗東町(44,48,170),野洲町(1,1,5),石部町(5,5,25),甲西町(5,4,17),水口町(22,37,137),甲南町(5,5,25),信楽町(110,110,443),安土町(32,21,84),蒲生町(19,19,72),日野町(53,53,180),竜王町(3,3,18),永源寺町(5,4,12),五個荘町(4,4,16),能登川町(11,11,45),湖東町(1,1,2),泰荘町(6,5,10),豊郷町(14,14,51),甲良町(14,9,40),多賀町(7,7,29),米原町(10,10,35),近江町(4,4,12)
非 住 家	公共建物	2			信楽町(1),日野町(1)
	その他	4			水口町(1),信楽町(2),米原町(1)

(注)非住家の( )欄の数字については棟数である。

## b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称	ha	被災市町村 (ha)
田	流失・埋没	41.724 大津市(23.995),近江八幡市(8.2),栗東町(0.79),石部町(0.06),甲西町(0.28),水口町(0.8),土山町(0.2),甲賀町(0.6),甲南町(0.8),信楽町(3.5),安土町(0.5),日野町(0.573),竜王町(0.223),永源寺町(1),多賀町(0.07),山東町(0.003),朽木村(0.02),高島町(0.11)
	冠水	2,852.01 大津市(139.9),彦根市(0.2),近江八幡市(306.6),八日市市(144),草津市(8),守山市(1),栗東町(77.21),中主町(20),野洲町(199),石部町(20),甲西町(1.2),水口町(35),土山町(1),伊賀町(3),甲南町(220),信楽町(103),安土町(824),蒲生町(33.4),日野町(35.5),竜王町(453.1),永源寺町(7),五箇荘町(5),能登川町(20),愛東町(0.2),湖東町(30),泰荘町(100),愛知川町(3),豊郷町(5),甲良町(4.5),多賀町(2.7),山東町(33),米原町(6),近江町(9),余呉町(0.5),今津町(1)
畑	流失・埋没	3.01 近江八幡市(3),日野町(0.01)
	冠水	193.945 彦根市(12.5),近江八幡市(12),八日市市(26),草津市(4.5),守山市(2.5),栗東町(0.66),中主町(10),印南町(0.5),信楽町(1.5),安土町(2),蒲生町(5),日野町(4.33),竜王町(6.97),永源寺町(0.5),能登川町(3),愛東町(0.15),湖東町(10),泰荘町(47),多賀町(0.1),近江町(14.4),びわ町(30.3),木之本町(0.035)

名称	箇所	隻	被災市町村
学 校	12		草津市(8),守山市(1),石部町(1),高島町(2)
道 路	318		大津市(16),彦根市(11),近江八幡市(2),八日市市(3),草津市(3),栗東町(12),甲西町(2),水口町(10),土山町(1),甲賀町(13),甲南町(16),信楽町(41),安土町(4),蒲生町(5),日野町(6),永源寺町(5),五箇荘町(2),多賀町(3),今津町(1),朽木村(7),高島町(3),県管理(152)
橋 り よ う	9		大津市(1),信楽町(5),竜王町(1),県管理(2)
河 川	694		大津市(19),八日市市(9),草津市(4),守山市(5),栗東町(3),水口町(4),土山町(1),甲賀町(1),信楽町(36),安土町(1),蒲生町(1),日野町(2),竜王町(3),永源寺町(1),能登川町(1),山東町(3),米原町(1),西浅井町(1),朽木村(4),安曇川町(1),県管理(593)
砂 防	13		県管理(13)
水 道	19		大津市(5),甲西町(1),信楽町(8),日野町(2),永源寺町(2),多賀町(1)
崖 く ず れ	585		彦根市(3),近江八幡市(13),八日市市(3),草津市(6),栗東町(44),石部町(3),甲西町(10),水口町(18),土山町(2),甲賀町(23),印南町(20),信楽町(348),蒲生町(1),日野町(42),竜王町(1),五箇荘町(7),能登川町(3),愛東町(11),泰荘町(10),米原町(2),木之本町(1),今津町(5),高島町(8),新旭町(1)
鉄 道 不 通	3		甲西町(1),甲賀町(1),信楽町(1)
船 舶 被 害		6	草津市(1),能登川町(5)

## c. り災者数・り災世帯数

名 称	世帯	人	被 災 市 町 村
り災世帯数	99		大津市(5),彦根市(1),近江八幡市(28),草津市(15),栗東町(30), 信楽町(11),安土町(7),豊郷町(1),甲良町(1)
り災者数		360	大津市(28),彦根市(6),近江八幡市(94),草津市(41),栗東町(112), 信楽町(43),安土町(30),豊郷町(4),甲良町(2)

## d. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
公立文教施設	1,452	林産被害	144,954
農林水産業施設	3,637,515	畜産被害	280
公共土木施設	8,135,700	水産被害	9,263
その他の公共施設	69,458	商工被害	5,600
< 小 計 >	11,844,125	そ の 他	1,300
農産被害	913,131	< 被害総額 >	12,918,653

## e. その他の状況

消防機関の 活動状況	(永源寺町)12日午前1時ごろより欠損箇所での土のう積等行ない、警戒体制をとった。消防団第1分団幹部及び第3分団の6班が8月1日午後9時より警戒体制。
	(蒲生町)地元消防団による危険箇所巡回。
	(近江町)家屋へ進入する雨水を防ぐため、土のうを積み土俵工にて250俵積んだ。
	(栗東町)避難誘導及び土のう積みなど水防活動に従事。
	(五箇荘町)河川巡回、道路巡回。〈撤去など〉
	(甲賀町)8/1~2明朝にかけて出勤警戒に当る。杣川右岸が崩壊(20~25m)人家に災害を及ぼす恐れのため土のう300袋を積み住家被害を防いだ。
	(甲西町)警戒及び浸水家屋のポンプによる排水。
	(甲南町)消防団員126名水防出勤。
	(滋賀県)避難誘導及び水防活動
	(信楽町)8月1日午前6時全団員召集し河川堤防決壊箇所の応急工事及び人家裏山危険箇所のパトロール。
	(泰荘町)河川、崖崩れ等による警戒
	(水口町)各地区の出勤要請により半数程度出勤。
	(石部町)消防団員待機、避難誘導及び土のう積など水防活動。
	(草津市)8/1市内河川応急対策及びパトロール。 8/3草津川堤防護岸工事。 避難誘導及び水防活動
	(大津市)決壊箇所による土のう積。
	(土山町)8月1日午後7時水防第1配備体制。 8月2日午前1時解除。
	(日野町)崖崩れ等による土砂搬出及び防災工事。 各地域の消防団第1出動により被災箇所巡回待機。
(米原町)消防団200人、住民250人、役場職員40人	
(竜王町)水防対策本部設置。	

台風13号(8月27日)

イ. 台風13号(8月27日)

(ア) 気象の概況

23日午前3時に硫黄島の南西約950kmの海上で最も勢力が強くなった台風13号は、27日午前0時過ぎに宮崎県に上陸し、九州東部と山口県を縦断して日本海へぬけた。

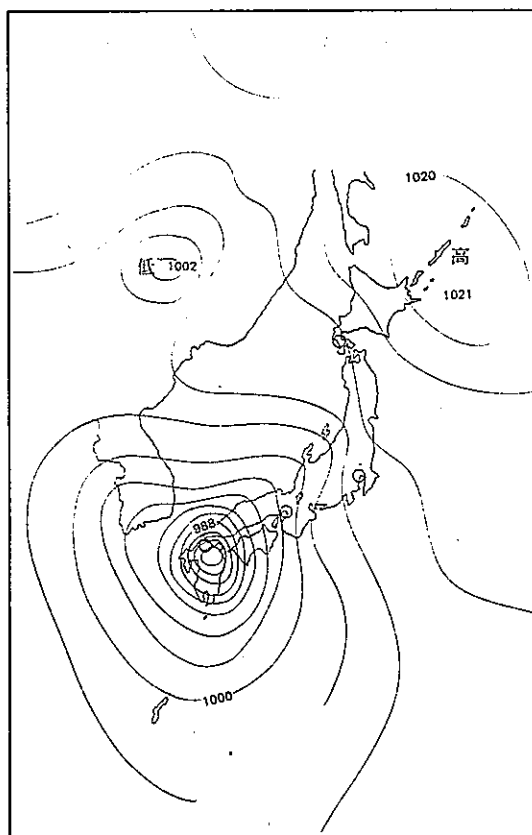
この台風の接近と通過の影響で、27日朝から強い雨が降った。

(イ) 降雨の状況

27日の総雨量では、土山町で77mmを記録した。

特に午前1時から2時にかけての1時間に36mmの強い雨が降った。

【8月27日午前9時の天気図】



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	27日
1	柳ヶ瀬	6
2	今津	13
3	虎姫	5
4	荒川	28
5	春照	40
6	北小松	13
7	彦根	10
8	近江八幡	15
9	霜ヶ原	45
10	蒲生	32
11	大津	5
12	信楽	12
13	土山	77

(ウ) 気象官署のとした処置

a. 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
強風大雨洪水注意報	27日午前2時30分	切替
強風注意報	27日午後6時30分	28日午前5時50分

b. 気象情報

台風に関する情報	第1号	27日午前5時
台風に関する情報	第2号	27日午後1時30分



## (エ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	27日午前2時30分	27日午後6時30分

## (オ) 被害の状況

## a. 公立文教施設被害

学校施設：1箇所（甲良町）

## b. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
公立文教施設	1,160	農 産 被 害	150,938
< 小 計 >	1,160	< 被 害 総 額 >	152,098

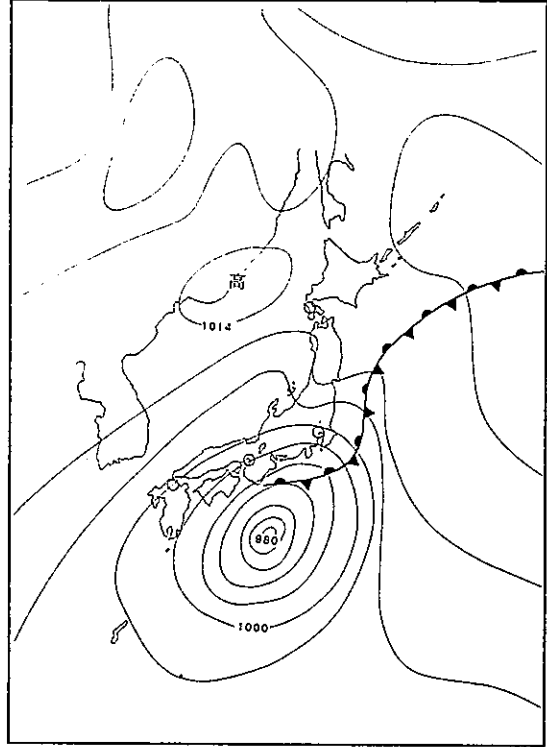
台風18号(9月12日)

ウ. 台風18号(9月12日)

(ア) 気象の概要

台風18号は12日の朝から進路を北に変え、東日本を縦断する最悪のコースをとった。同日午後6時、静岡県御前崎に上陸し、本県は、12日の夕方から雨が強まり、湖南、鈴鹿山系を中心に、特に日野町熊野観測所(日野川ダム管理事務所管轄)で182mm、彦根で119mm、甲賀町大原(水口土木事務所管轄)で128.5mm、時間雨量も熊野で32mmと局地的な豪雨に見舞われた。台風は13日夜には根室沖に抜け、温帯低気圧となった。

【9月12日午後9時の天気図】



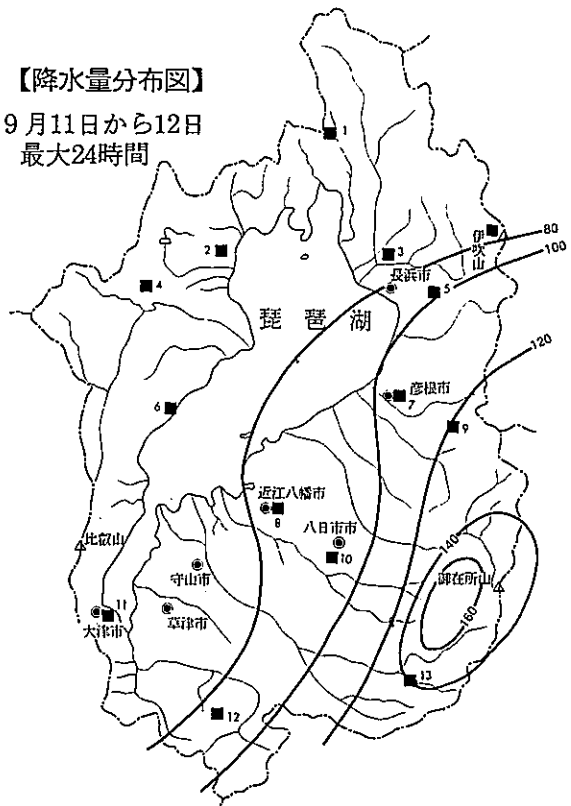
(イ) 降雨の状況

特に彦根市や蒲生町などで南部を中心に強い雨が降った。

雨が最も多かったのは土山町で総降水量は170mmであった。この雨により、12日午後5時頃大津市の県道でがけ崩れが発生した。

【降水量分布図】

9月11日から12日  
最大24時間



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	12日
1	柳ヶ瀬	57
2	今津	32
3	虎姫	70
4	荒川	50
5	春照	80
6	北小松	54
7	彦根	101
8	近江八幡	83
9	霜ヶ原	116
10	蒲生	100
11	大津	39
12	信楽	57
13	土山	146

## (ウ) 出水の状況

主な河川の最高水位とその起時及び警戒水位は次の通りである。

## 【主要河川水位表】

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
杣川	水口町	北杣川	3.0	3.05	12日午後6時
日野川	近江八幡市	桐原橋	3.0	4.73	12日午後6時
宇曾川	愛知川町	上枝	2.7	2.92	12日午後5時

## (エ) 気象官署のとした処置

## a. 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
風雨注意報	12日午前10時	切替
大雨洪水強風注意報	12日午後1時15分	警報に切替
大雨洪水警報	12日午後4時25分	注意報に切替
風雨洪水注意報	12日午後7時	切替
強風注意報	12日午後9時41分	13日午前7時15分

## b. 気象情報

台風に関する情報	第1号	12日午後5時
----------	-----	---------

## (オ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	12日午前10時	2号体制に切替
第2号警戒体制	12日午後4時25分	1号体制に切替
第3号警戒体制	12日午後7時	12日午後9時41分

## (カ) 被害の状況

## a. 住家被害

区分・名称	棟	世帯	人	被災市町村 (棟,世帯,人)	
住家	床上浸水	1	1	5	近江八幡市
	床下浸水	67	60	233	水口町(30,23,98),近江八幡市(34,34,128),日野町(3,3,7)
非住家	その他	1			五個荘町

## b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称		ha	箇所	被災市町村
田	流失・埋没	1		永源寺町
	冠水	2.015		近江八幡市(2), 彦根市(0.015)
畑	流失・埋没	31		近江八幡市(30), 五個荘町(1)
	冠水	0.1		日野町
その他	道路		8	県内各所
	橋りょう		1	多賀町
	河川		65	県内各所
	崖くずれ		3	水口町(1), 甲賀町(2)

## c. り災者数・り災世帯数

世帯	人	被災市町村
1	5	近江八幡市

## d. 被害金額

名称	金額(千円)	名称	金額(千円)
農林水産業施設	80,000	農産被害	148,278
公共土木施設	497,800	その他	500
その他の公共施設	13,900	《被害総額》	740,478
< 小計 >	591,700		

台風19号(9月24日から25日)

エ. 台風19号(9月24日から25日)

(ア) 気象の概況

16日午後9時にフィリピンの東方海上で発生した台風19号は、25日午前2時30分ごろ、愛媛県宇和島付近に上陸し、中国地方西部を縦断し、同日午後3時に日本海へぬけた。

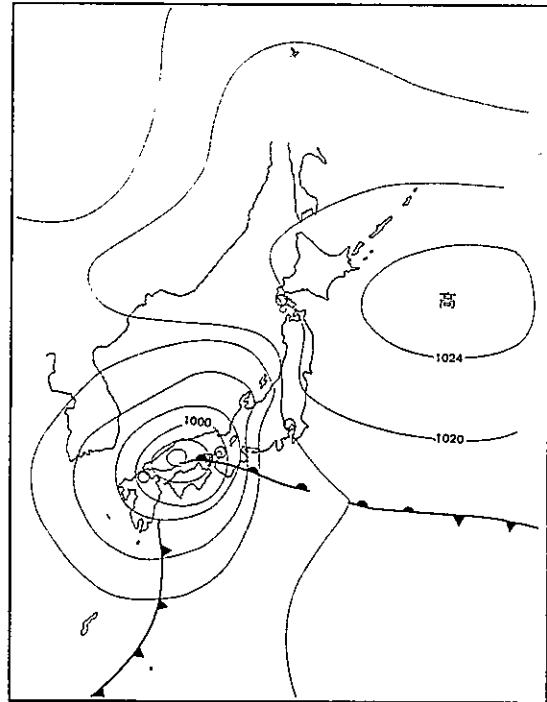
この台風の影響で24日から25日にかけて強い雨が降った。

(イ) 降雨の状況

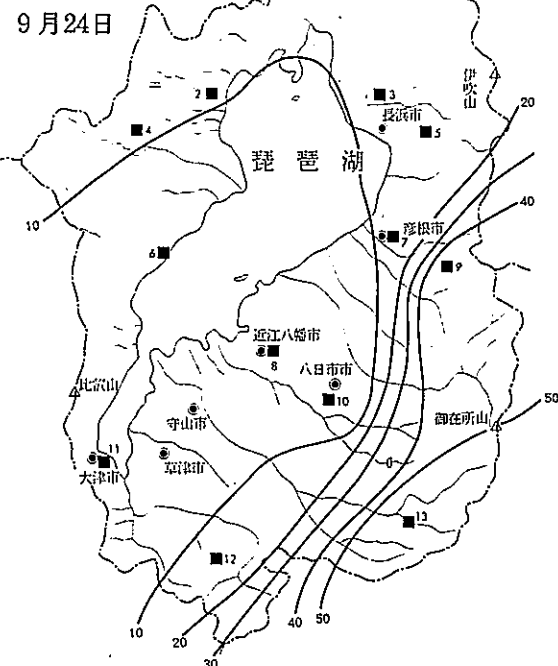
25日の総雨量では、土山町で88mmを記録した。

特に午前5時から6時にかけての1時間に34mmの強い雨が降った。

【9月25日午後9時の天気図】



【降水量分布図】



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	24日	25日
1	柳ヶ瀬	13	—
2	今津	11	2
3	虎姫	13	1
4	荒川	13	8
5	春照	11	56
6	北小松	7	1
7	彦根	12	1
8	近江八幡	7	5
9	霜ヶ原	9	40
10	蒲生	8	8
11	大津	5	5
12	信楽	8	11
13	土山	13	88

## (ウ) 気象官署のとした処置

## a. 発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
強風注意報	25日午前11時	25日午後9時10分

## b. 気象情報

台風に関する情報	第1号	25日午前4時45分
----------	-----	------------

## (エ) 被害状況

## a. 住家被害

名 称	棟	世帯	人	被災市町村 (棟,世帯,人)
軽 傷			1	土山町
一部損壊	3	8	28	土山町(2,7,26),愛東町(1,1,2)

## b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称	ha	被災市町村
田	流失・埋没	0.2 土山町
	冠 水	100 土山町
畑	流失・埋没	0.02 愛東町
	冠 水	15 愛東町

## c. 被害金額

名 称	金 額 (千円)
その他の公共施設	2,175
< 小 計 >	2,175
農 産 被 害	14,447
《 被 害 総 額 》	16,622

## 2. 豪 雨

### (1) 豪雨の状況

本年は、7月23日から25日の梅雨前線による長崎豪雨と7月末から8月3日の台風10号と低気圧による豪雨等、大規模な豪雨がみられた。

なお、西日本での主な集中豪雨は、次の通りである。

月 日	場 所	主 な 原 因
7月11日から14日	西日本	11日から九州付近に停滞していた前線に14日低気圧が通過したため。
7月16日から18日	全国	低気圧が日本海を通過し、前線活動が強まったため。
7月19日から20日	西日本	停滞前線上を低気圧が通過したため。
7月23日から25日	長崎、佐賀県	九州付近に前線が停滞し、かつ、前線上の低気圧が接近したため。
7月31日から8月3日	全国	梅雨前線が東日本に停滞していたところへ、台風10号が北上し接近したため。
8月25日から27日	西日本	台風13号(8月27日)の影響。
9月23日から25日	西日本	台風19号(9月24日から25日)の影響。

豪雨(7月16日から17日)

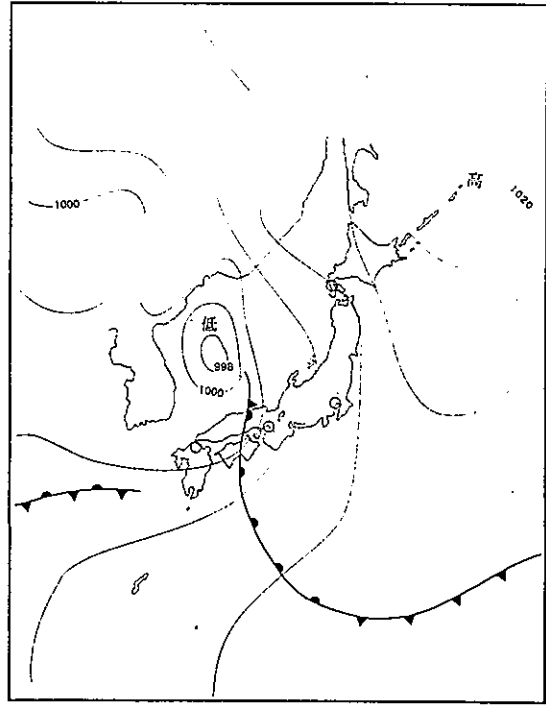
(2) 災害の状況

ア. 豪雨(7月16日から17日)

(ア) 気象の概要

10日夜、黄海にまで進んできた低気圧は、11日に朝鮮半島北部を通過して日本海に入り、日本海北部を北東に進んだ。この低気圧から伸びる前線の通過により、11日には各地で風雨が強まった。その後20日まで、前線はほぼ四国の南海上に停滞し、各地で大雨、強雨による災害が発生した。

【7月16日午後9時の天気図】

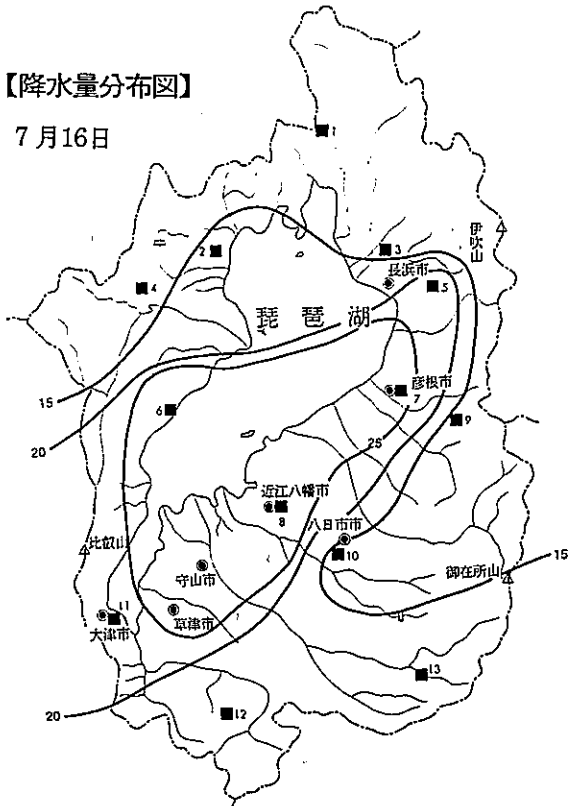


(イ) 降雨の状況

16日から17日にかけて前線の影響で局地的に大雨が降った。このため、安土・近江八幡付近を流れる蛇砂川、三明川等で堤防の欠損の被害が発生した。

【降水量分布図】

7月16日



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	16日	17日
1	柳ヶ瀬	14	6
2	今津	18	8
3	虎姫	10	11
4	荒川	11	8
5	春照	20	15
6	北小松	45	23
7	彦根	25	22
8	近江八幡	22	58
9	霜ヶ原	14	30
10	蒲生	14	21
11	大津	21	31
12	信楽	20	11
13	土山	18	8



## (ウ) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
大雨洪水雷雨注意報	16日午後2時	17日午前7時20分

## (エ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	16日午後2時	17日午前7時50分

## (オ) 被害の状況

## a. 農林水産・土木関係被害

名 称	箇所	被災市町村
河 川	9	八日市土木管内

## b. 被害金額

名 称	金 額(千円)
公共土木施設	122,700
< 小 計 >	122,700
<< 被 害 総 額 >>	122,700

豪雨(7月24日から25日)

イ. 豪雨(7月24日から25日)

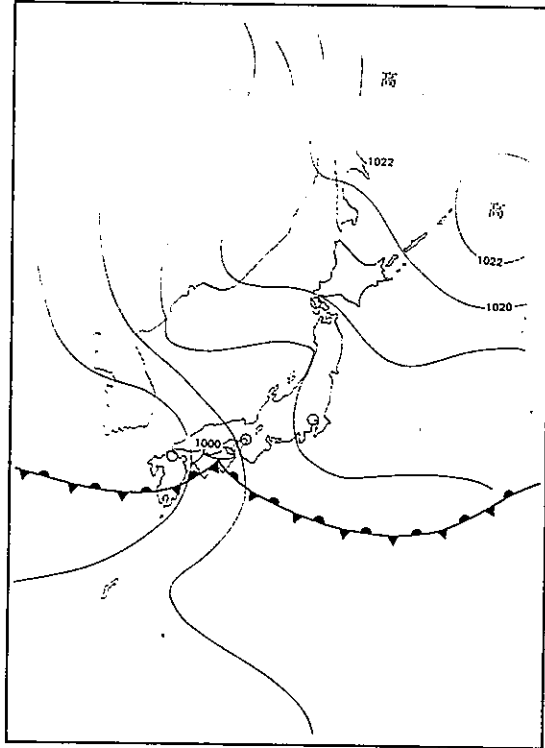
(ア) 気象の概要

23日夜に朝鮮海峡付近まで東進してきた低気圧に伴い、前線が除々に北上するとともに活発化してきた。さらに別の低気圧が24日から25日にかけて対馬海峡から四国を通過して紀伊半島へと進んだ。

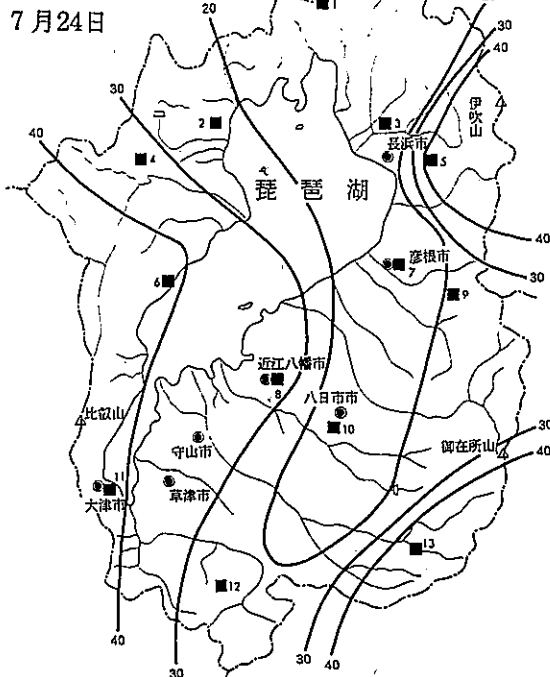
(イ) 降雨の状況

この四国を通った低気圧の影響で24日から25日にかけて全域で雨となったが、特に南西部、南東部で多かった。

【7月24日午後9時の天気図】



【降水量分布図】



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	24日	25日
1	柳ヶ瀬	18	19
2	今津	22	18
3	虎姫	11	4
4	荒川	35	20
5	春照	43	18
6	北小松	47	43
7	彦根	18	15
8	近江八幡	32	35
9	霜ヶ原	20	15
10	蒲生	16	17
11	大津	43	41
12	信楽	26	21
13	土山	49	35

## (ウ) 出水の状況

主な河川の最高水位とその起時及び警戒水位は次の通りである。

## 【主要河川水位表】

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
和邇川	志賀町	和邇川橋	1.5	1.8	24日午後8時
真野川	大津市	真野川橋	1.5	1.8	24日午後8時

## (エ) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
大雨洪水雷雨注意報	24日午前10時50分	25日午前9時30分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	24日午前10時50分	25日午前9時30分

## (カ) 被害の状況

## a. 農林水産・土木関係被害

名 称	箇所	被災市町村
道 路	8	大津市
河 川	25	市町村管理(12), 県管理(13)
崖くずれ	5	県内各所

## b. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
農林水産業施設	38,500	< 小 計 >	176,500
公共土木施設	138,000	<< 被害総額 >>	176,500

豪雨(7月29日)

ウ. 豪雨 (7月29日)

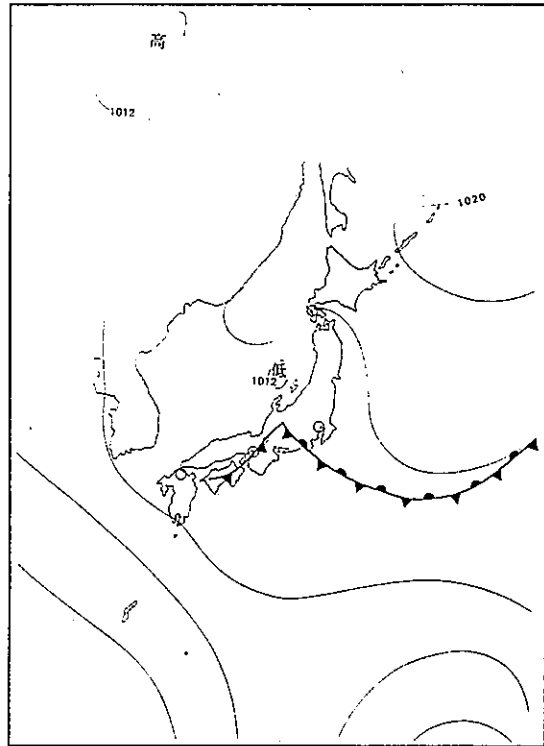
(ア) 気象の概要

27日に近畿地方、四国地方は梅雨明けとなった。しかし、低気圧から南西に伸びた前線の影響で大気は不安定な状態が続き所々で雷、ひょうなどを伴った強雨があった。この様な状況は29日頃まで続いた。

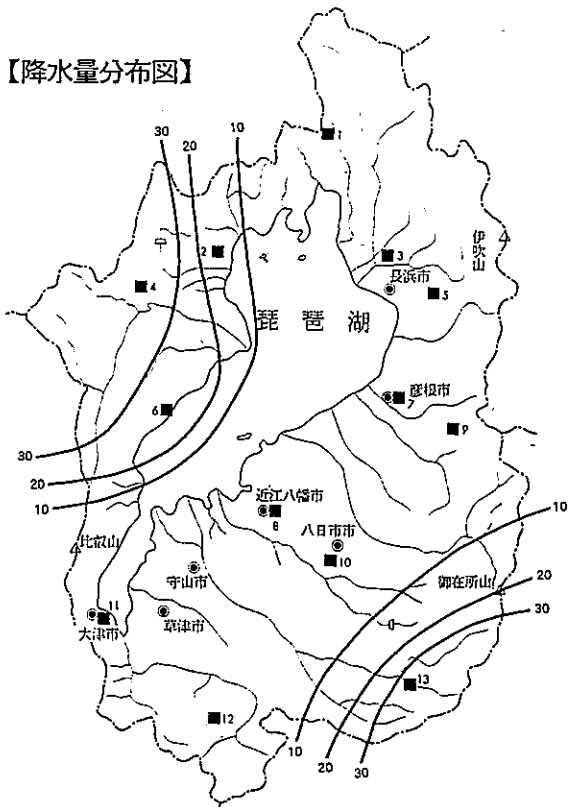
(イ) 降雨の状況

29日、前線の影響により大気が不安定となり湖西地方を中心として、局地的な大雨や雷雨となった。

【7月29日午前9時の天気図】



【降水量分布図】



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	29日
1	柳ヶ瀬	1
2	今津	15
3	虎姫	3
4	荒川	58
5	春照	4
6	北小松	29
7	彦根	4
8	近江八幡	4
9	霜ヶ原	4
10	蒲生	5
11	大津	1
12	信楽	—
13	土山	34

## (ウ) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種 類	発 令 時 刻	解 除 時 刻
雷雨注意報	29日午後1時40分	切替
大雨雷雨注意報	29日午後4時15分	警報に切替
大雨洪水警報	29日午後5時35分	注意報に切替
大雨洪水雷雨注意報	29日午後7時35分	29日午後9時30分

## (エ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	29日午後1時40分	2号体制に切替
第2号警戒体制	29日午後5時35分	1号体制に切替
第1号警戒体制	29日午後7時35分	29日午後9時30分

## (オ) 被害の状況

## 住家被害

名 称	棟	世帯	人	被 害 市 町 村
床下浸水	3	3	13	志賀町

融雪(2月12日から13日)

## 3 . 雪 害

融雪(2月12日から13日)

### (1) 気象の概要

11日に冬型気圧配置は弱まり、日本海側でも雪は止んだ。11日後半から12日にかけて南海上を低気圧が東に進んだため、雨となり、気温が上昇した。そのため、融雪による被害が発生した。

### (2) 被害の状況

農林水産業施設被害総額：14,911千円

## 4. 干 害

### 干 害(6月)

#### (1) 気象の概要

6月初めは、全般的に雨であったが、その後は、高気圧に覆われ晴天の日が多かった。

13日から14日にかけて低気圧の通過により天気は崩れ、梅雨入りとなったが、21日頃まで全線は南海上に停滞し、寒気の南下により所々で雷雨、降ひょうなどがあったが、総じて雨は少なく、梅雨期としては晴天が多かった。23日から24日にかけてと26日には低気圧と台風5号の影響により天気は崩れたが雨は少なく、台風通過後はまた高気圧に覆われ月末まで全般に晴天であった。

#### (2) 被害の状況

農産被害総額：32,793千円

主な被害地域：今津町、新旭町

降ひょう(4月13日)

## 5. ひょう害

降ひょう(4月13日)

### (1) 気象の概要

日本海西部の低気圧に向って、大陸方面から寒気が流れ込み、各地とも気温が下がったため、降ひょうの被害が発生した。

### (2) 被害の状況

被害総額: 184千円

施設被害

市町名	施設名	被害程度	件数	被害額(千円)	備考
能登川町	ビニールハウス	—	14	184	非共同



## 6. その他

### (1) 強風(4月9日から10日)

#### ア. 気象の概要

日本海西部に発生した低気圧が急速に発達しながら能登半島付近から本州中部を北東に進み、10日の午前9時には三陸沖に達した。このため9日から10日にかけて各地で毎秒20m以上の突風となり、本県では9日夜半から被害が発生した。

#### イ. 被害の状況

長浜市、湖北町、高月町に於いてビニールハウス12棟が破壊されるなどの農業被害がでた他、公共土木施設にも被害があった。

名 称	金 額(千円)	名 称	金 額(千円)
公共土木施設	215,000	農 産 被 害	3,200
< 小 計 >	215,000	< 被 害 総 額 >	218,200

### (2) 落雷(6月19日)

#### ア. 気象の概要

日本海に張り出した高気圧からの寒気の流入により大気が不安定となり、落雷が発生した。このため湖東町では農業用揚水機場に、守山市では民家に落雷するなどの被害が出た。

#### イ. 被害の状況

被害総額：3,000千円

### (3) 突風(11月29日から30日)

#### ア. 気象の概要

11月26日までは冬型の気圧配置が続き、太平洋側では晴れ、日本海側では曇や雨の天気が続いた。27日になると冬型もゆるみはじめ、28日は移動性高気圧に覆われ全般に晴れの良い天気となった。29日夜から30日朝にかけて低気圧が日本海と四国南岸を発達しながら東に進み大荒れの天気となった。また室戸岬では30日に毎秒43.6mの瞬間風速を観測した。

#### イ. 被害の状況

被害総額：5,570千円

主な被害地域：彦根市、愛東町、甲良町、長浜市、浅井町、湖北町

## a. 施設被害

市町名	施設名	被害程度	件数	被害額(千円)	備考
彦根市	ビニールハウス	全壊	1	300	非共同
愛東町	ビニールハウス	中破	1	150	非共同
甲良町	ビニールハウス	中破	2	70	非共同
長浜市	パイプハウス	小破	5	1,000	非共同
浅井町	パイプハウス	中破	6	1,000	非共同
湖北町	パイプハウス	小破	4	750	非共同
合計			19	3,270	

## b. 農作物被害

市町名	作物名など	面積(ha)	減収量(t)	被害額(千円)	備考
彦根市	キクナ	0.04	5,000束	300	
浅井町	イチゴ	0.3	2.0	1,600	
湖北町	イチゴ	0.1	0.5	400	
合計		0.44		2,300	

## 昭和58年(1983年)の気象概況

昨年末よりつづいていた暖冬も2月に入り、西日本を中心に強い寒気が入りやすくなり寒くなった。3月～4月中旬頃までは、低気圧や前線の影響で、ぐずついた天気が多かったが、4月下旬になり高気圧におおわれる日が多く、気温も平年に比べ高かった。この傾向は5月の半ばと下旬に一時気温が低かった日を除き、6月上旬まで続いた。本年の梅雨は、6月12日～7月25日の43日間で、この期間内には「昭和58年7月豪雨」等もあり、陽性型であった。梅雨明け後は、太平洋高気圧におおわれ暑い夏となり、8月半ばには台風5号が接近し、渥美半島に上陸した。9月に入っても残暑はきびしかったが、下旬に入り秋雨前線が、本州南岸に停滞することが多くなり雨天が続いた。10月に入り天気は周期的に変化し、秋の深まりは早く、11月中旬以降冬型の気圧配置となる日が多くなり、寒さの訪れも早く、季節は冬へと移っていった。彦根では、平年（12月7日）より、11日早く初雪が降った。

# 1. 台 風

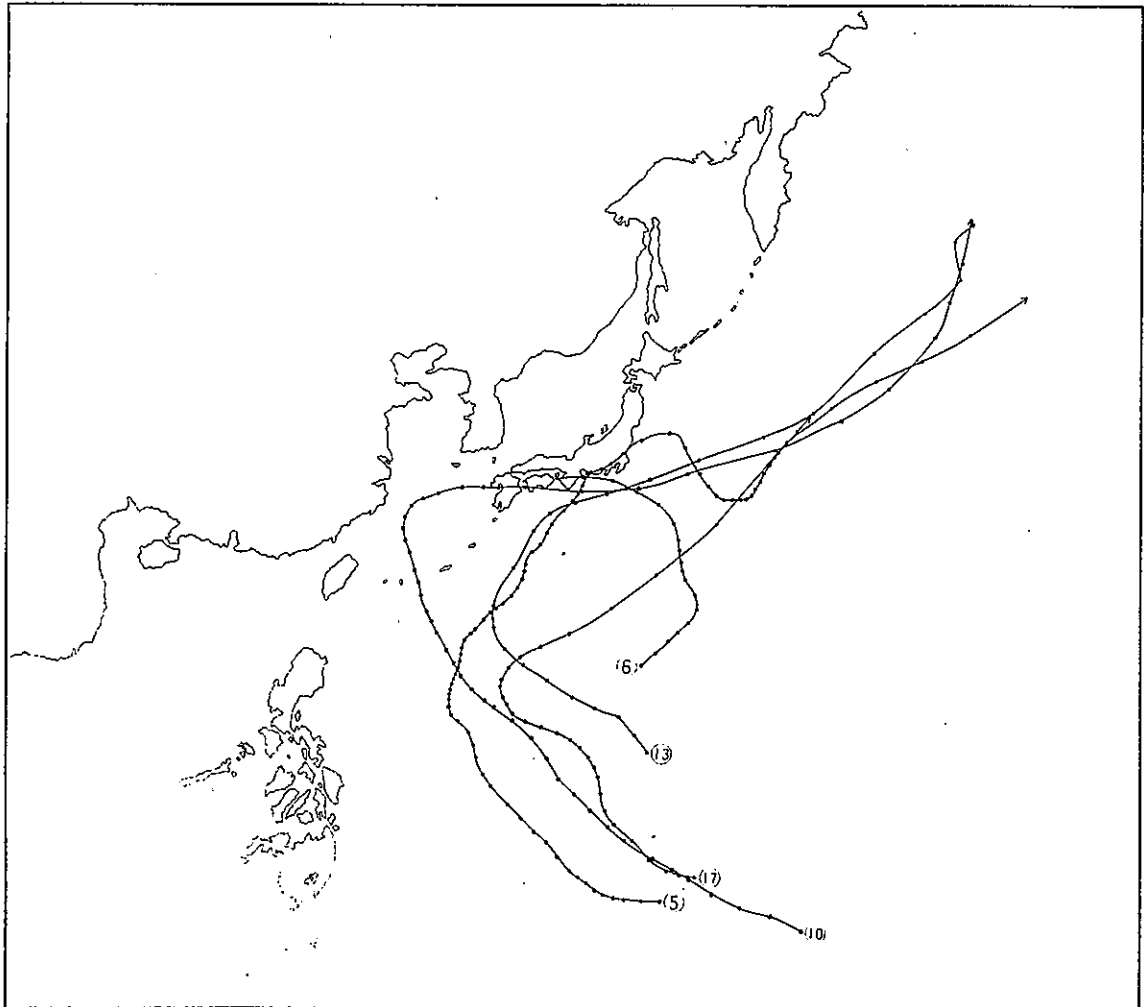
## (1) 台風の概況

本年は台風が発生するペースが遅く、6月25日になってようやく第1号が発生し、その後、夏から初秋にかけての台風シーズンにおける発生数も例年より少なく、晩秋から初冬にかけては、この季節としては多かったものの、年間発生数は23個と、平年より4個程少なかった。

しかし、台風の発生数が少なかったとはいえ、5号と10号の2個の台風が日本に上陸したのを始めとして、7つの台風が日本に接近して、大きな被害をもたらした。

なお、日本に影響を与えた台風の進路は、次の通りである。

### 【日本に影響のあった台風の経路】



### 【主要な台風の概要】

台風番号	5号	6号	10号	13号	17号
最低気圧 (mb)	968.3	988.1	963.7	983.5	932.5
最大風速(m/秒)	27.9	18.9	28.9	31.5	22.6



## (ウ) 出水の状況

主な河川の最高水位とその起時及び警戒水位は次の通りである。

## 【主要河川水位表】

河川名	観測所	警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
余呉川	余呉町 堂木分流点	1.5	1.74	18日午前6時

## (エ) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
風雨注意報	15日午後2時20分	15日午後7時40分
大雨洪水雷雨注意報	16日午前2時20分	切替
風雨注意報	16日午前7時50分	切替
大雨洪水強風注意報	16日午前11時	警報に切替
暴風雨洪水警報	16日午後8時	注意報に切替
強風大雨洪水注意報	17日午前8時	切替
風雨注意報	17日午後3時30分	17日6時40分
大雨洪水注意報	18日午前4時25分	18日午後3時25分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	15日午後2時20分	15日午後7時40分
第1号警戒体制	16日午前2時20分	2号体制に切替
第2号警戒体制	16日午後8時	1号体制に切替
第1号警戒体制	17日午前8時	18日午後3時25分

## (カ) 被害の状況

## a. 農林水産・土木関係被害

名 称	箇所	棟	被災市町村
非住家	その他	1	県内各所
道 路	8		県内各所
河 川	21		県内各所

## b. 被害金額

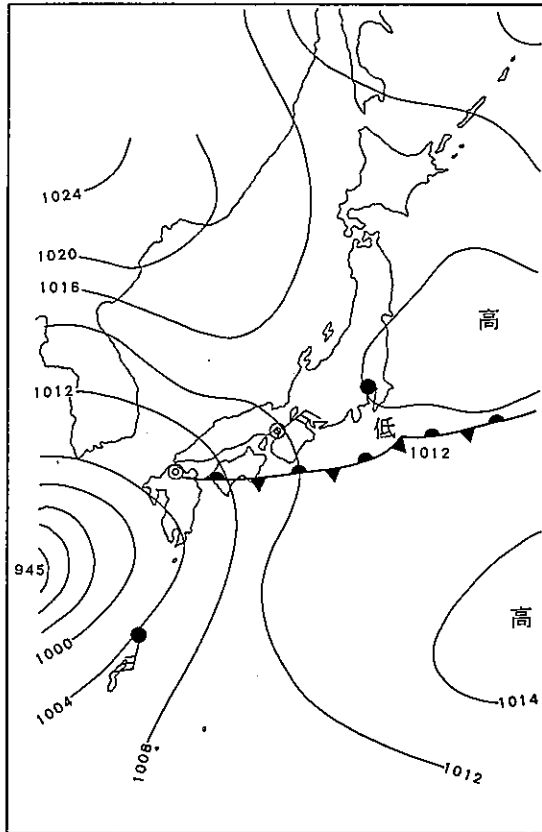
名 称	金 額 (千円)
公共土木施設	231,100
< 小 計 >	231,100
農 産 被 害	56,575
林 産 被 害	700
そ の 他	500
< 被 害 総 額 >	288,875

## イ. 台風10号(9月27日から28日)

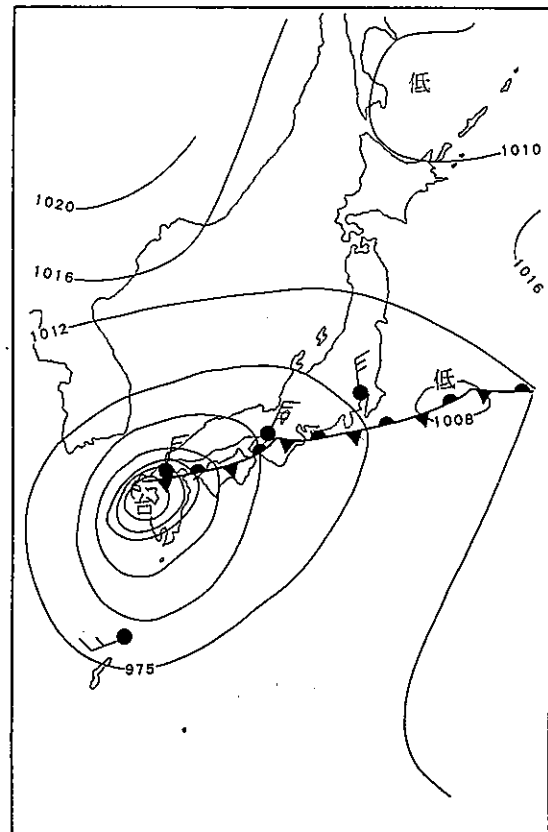
## (ア) 気象の概要

19日に発生した台風10号は、25日の午後9時に、沖縄県那覇市の南西約170kmの海上に達し、その後はやや速度を落として東シナ海を北西に進んだ。その後28日の午前10時20分ころ、長崎県に上陸した。台風の北上に伴って、日本の南海上に停滞していた前線が25日から活発化し、太平洋側を中心に強い雨が降り始めた。

【9月27日午後9時の天気図】



【9月28日午前9時の天気図】

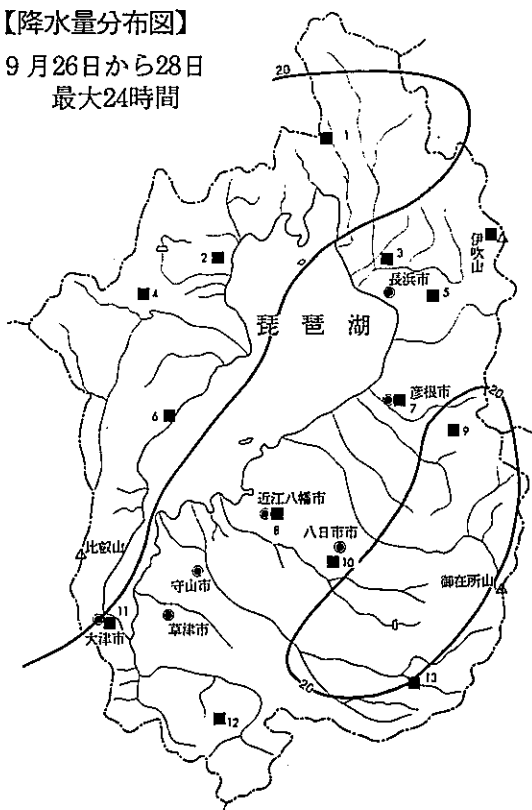


## (イ) 降雨の状況

特に28日の総雨量では、台風(および台風から変わった低気圧)の通過により、北小松で84mmをはじめとする強い雨となった。

【降水量分布図】

9月26日から28日  
最大24時間



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	27日	28日
1	柳ヶ瀬	78	120
2	今津	67	149
3	虎姫	71	98
4	荒川	59	149
5	春照	55	78
6	北小松	68	184
7	彦根	53	91
8	近江八幡	56	97
9	霜ヶ原	56	94
10	蒲生	61	105
11	大津	56	118
12	信楽	25	53
13	土山	53	45

(ウ) 出水の状況

主な河川の最高水位とその起時及び警戒水位は次の通りである。

【主要河川水位表】

種 類	発令時刻	解除時刻
大雨洪水注意報	27日午後1時50分	切替
大雨洪水注意報	28日午前9時30分	警報に切替
大雨洪水警報	28日午後0時40分	注意報に切替
大雨洪水強風注意報	28日午後7時30分	切替
強風洪水注意報	28日午後10時50分	切替
強風注意報	29日午前5時30分	29日午後1時

(エ) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
真野川	大津市	真野川橋	1.5	1.75	28日午後4～6時
童子川	野洲町	童子川橋	1.8	2.14	28日午前7時
杣川	水口町	北杣橋下流右岸	3.0	3.24	28日午後4時
日野川	近江八幡市	桐原橋	3.0	3.14	28日午後8時
姉川	びわ町	難波橋橋詰右岸	2.7	2.84	28日午後7時
余呉川	余呉町	西山橋	1.3	1.72	28日午後7時
天川	今津町	天川橋	1.2	1.45	28日午後3時



## (オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	27日午後1時50分	2号体制に切替
第2号警戒体制	28日午後0時40分	1号体制に切替
第1号警戒体制	28日午後7時30分	29日午前5時30分

## (カ) 被害の状況

## a. 住家被害

名 称	棟	世帯	人	被 災 市 町 村 (棟, 世帯, 人)
床上浸水	2	2	8	近江八幡市
床下浸水	53	50	178	大津市(13, 13, 36), 草津市(5, 5, 16), 近江八幡市(32, 29, 112), 日野町(1, 1, 7), 安曇川町(2, 2, 7)

## b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称	ha	箇所	被 災 市 町 村 (ha, 箇所)
田 冠 水	175.5		近江八幡市(7.5), 野洲町(25), 蒲生町(3), 竜王町(0.5), 五箇荘町(12), 米原町(30), 近江町(25), びわ町(14), 今津町(3.5), 安曇川町(35), 高島町(20)
畑 冠 水	38.45		彦根市(20.4), 守山市(2.25), 中主町(1), 野洲町(2), びわ町(8.5), 木之本町(0.3), 西浅井町(4)
そ の 他	学 校	1	大津市
	道 路	38	大津市(13), 安土町(3), 日野町(3), 伊吹町(2), マキノ町(1), 県管理(16)
	橋りょう	4	県管理
	河 川	203	大津市(21), 長浜市(1), 草津市(2), 守山市(3), 栗東町(3), 石部町(1), 安土町(3), 日野町(5), 余呉町(1), 安曇川町(4), 県管理(159)
	砂 防	7	県管理
	崖くずれ	6	西浅井町(1), マキノ町(1), 今津町(3), 新旭町(1)

## d. 被害金額

名 称	金 額 (千円)
公共文教施設	4,646
農林水産業施設	277,465
公共土木施設	2,481,000
< 小 計 >	2,763,111
農 産 被 害	181,379.3
林 産 被 害	5,900
《 被 害 総 額 》	2,950,390.3

## c. り災者数・り災世帯数

世 帯	人	被 災 市 町 村
2	8	近江八幡市

## 2. 豪 雨

### (1) 豪雨の状況

本年における大雨の中で、顕著で規模の大きかったものは、まず梅雨末期の7月23日に死者百十数人をだした山陰西部の集中豪雨(昭和58年7月豪雨)、また8月15日の小型台風6号に続いて、8月17日愛知県渥美半島に上陸した大型台風5号による東海・関東の大雨、さらに9月28日長崎県に上陸し東に進んだ台風10号と前線による西日本から本州中部の大雨であった。

なお、西日本での主な集中豪雨は、次の通りである。

月 日	場 所	主 な 原因
6月20日から21日	西日本から関東地方	梅雨前線上の低気圧が本州南部を進んだため。
7月23日	山陰地方西部	20日頃から停滞していた梅雨前線上に気圧の谷が発生したため。
9月26日から27日	西日本から本州中部	前線が台風10号により活発化したため。

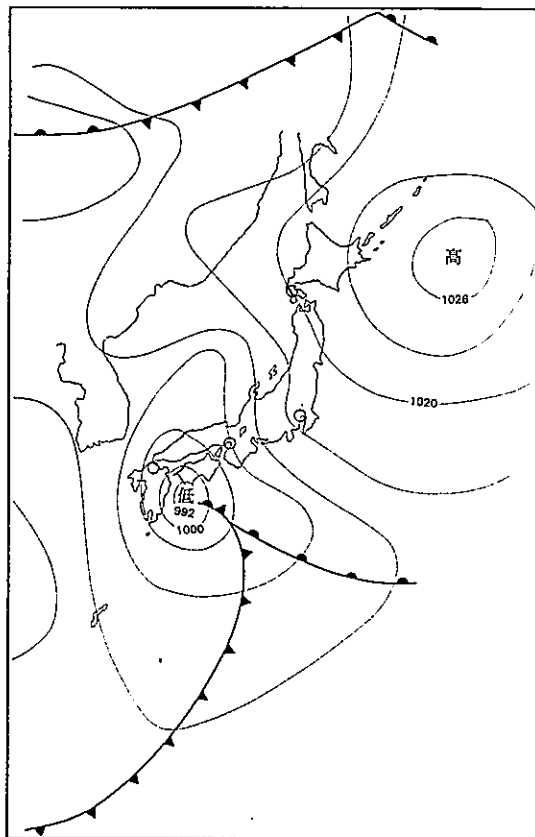
### (2) 災害の状況

#### ア. 強風雨(4月1日)

##### (ア) 気象の概要

1日に中心気圧が992mbと発達した低気圧が土佐湾から若狭湾へ西日本を南北に縦断したため、西日本の太平洋側の地域や山陰地方で大雨を降らせたばかりでなく、各地に強風や突風をもたらした。雨は太平洋側の地域では31日の昼頃から降りだし、1日には強風を伴った大雨になった。

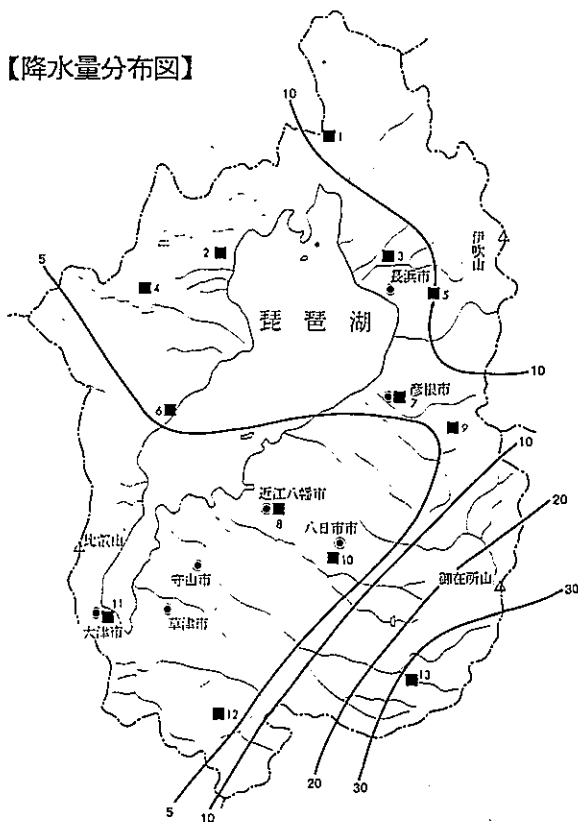
【4月1日午前9時の天気図】



## (イ) 降雨の状況

低気圧は県内を1日の午後を通過し、夕刻には若狭湾にぬけた。このため県下では昼前から夕刻にかけての南東の風が強まり、彦根で午後4時10分に最大瞬間風速毎秒20.8m、午後4時30分に最大風速毎秒11.3mを記録した。愛東町では強風のため温室が6棟破損し栽培していた莓に被害を受けた。

【降水量分布図】



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	1日
1	柳ヶ瀬	16
2	今津	5
3	虎姫	7
4	荒川	—
5	春照	16
6	北小松	5
7	彦根	5
8	近江八幡	1
9	霜ヶ原	—
10	蒲生	1
11	大津	3
12	信楽	3
13	土山	34

## (ウ) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
風雨注意報	1日午前7時30分	切替
強風注意報	1日午後7時40分	切替
強風注意報	2日午前11時45分	2日午後9時25分

## (エ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	1日午前7時30分	2日午後9時25分

## (オ) 被害の状況

農産被害総額：1,829千円（愛東町）

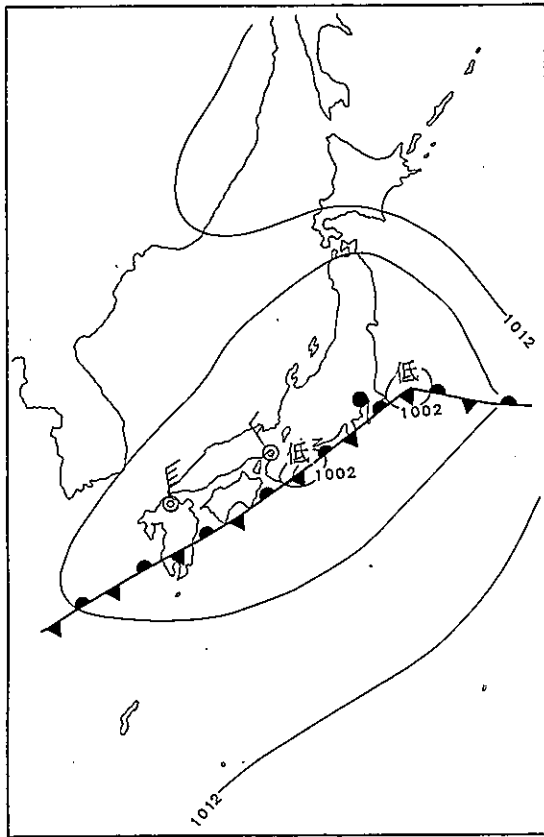
大雨(6月20日から21日)

イ. 大雨(6月20日から21日)

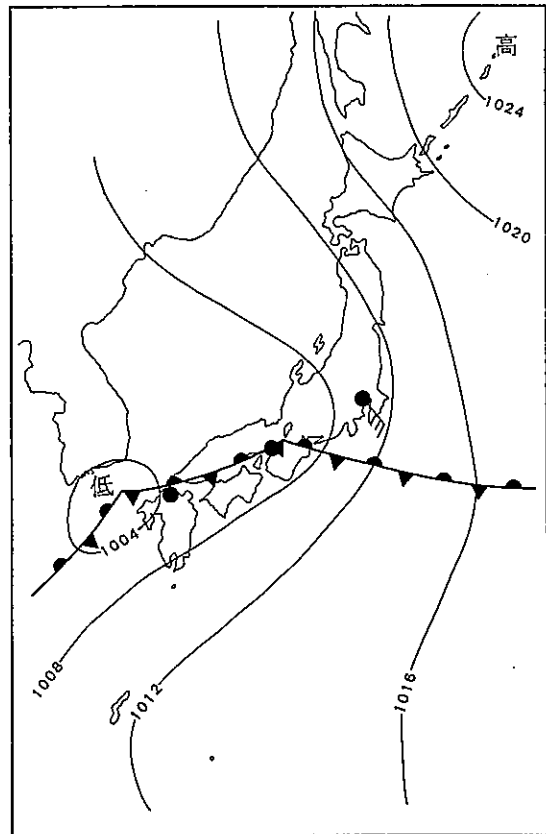
(ア) 気象の概要

19日になって南下していた前線が西から北上してきたため、四国地方では夜半前から雨が降り出した。20日には黄海の前線上に低気圧が発生し、山陰沖を東北東に進むに伴い温暖前線が西日本を通過した。その後、夜になって山陰まで北上した前線は再び南下して西日本を縦断した。このため、西日本各地で大雨や強雨による被害が出た。

【6月20日午後9時の天気図】



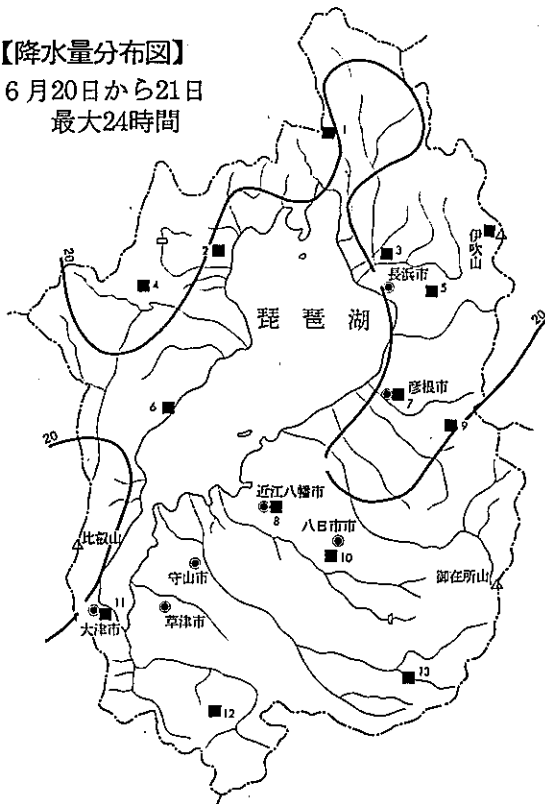
【6月21日午前9時の天気図】



(イ) 降雨の状況

県下では20日早朝から降り始めた雨は21日午前中まで続き100~170mmの大雨になった。21日未明は強く降り、虎姫で1時間あたり31mm、伊吹山で同じく48mmを記録した。この大雨・強雨のため湖東・湖南地方を中心にほぼ県下全域に被害が出た。

【降水量分布図】  
6月20日から21日  
最大24時間



【気象台観測所雨量】 単位(mm)

No.	観測所	20日	21日
1	柳ヶ瀬	102	70
2	今津	96	53
3	虎姫	66	83
4	荒川	66	58
5	春照	94	75
6	北小松	123	51
7	彦根	89	51
8	近江八幡	106	44
9	霜ヶ原	93	37
10	蒲生	84	29
11	大津	129	38
12	信楽	70	31
13	土山	48	27

(ウ) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
大雨注意報	20日午前8時40分	切替
大雨洪水警報	20日午後4時50分	警報に切替
大雨洪水警報	21日午前3時25分	注意報に切替
洪水注意報	21日午前6時50分	21日午前10時

(エ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	20日午前8時40分	2号体制に切替
第2号警戒体制	20日午後3時25分	1号体制に切替
第1号警戒体制	21日午前6時50分	21日午前10時

(オ) 被害の状況

a. 住家被害

区分・名称	棟	世帯	人	被災市町村(棟,世帯,人)	
住家	床上浸水	1	1	2	長浜市
	床下浸水	77	74	317	長浜市(14,14,54),近江八幡市(18,15,71),草津市(32,32,145), 栗東町(3,3,10),五箇荘町(1,1,4),能登川町(4,4,12),マキノ町 (4,4,18),安曇川町(1,1,3)
非住家	その他	2			伊吹町

b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称	ha	箇所	被災市町村 (ha, 箇所)
田 冠水	12		西浅井町(8), 安曇川町(4)
畑 冠水	63.47		彦根市(5.07), 長浜市(4), 山東町(4.2), 近江町(3), 虎姫町(3), 湖北町(6.2), びわ町(3), 木之本町(3), 余呉町(12), 西浅井町(20)
その他の	道路	29	大津市(7), 彦根市(1), 守山市(2), 栗東町(3), 永源寺町(1), 安曇川町(1), 県管理(14)
	橋りょう	9	彦根市(5), 県管理(4)
	河川	200	大津市(6), 彦根市(1), 長浜市(1), 草津市(3), 栗東町(2), 水口町(1), マキノ町(3), 高島町(1), 県管理(182)
	砂防	3	県管理(3)
	水道	1	西浅井町
	崖くずれ	13	彦根市(2), 栗東(1), 浅井町(1), 西浅井町(2), マキノ町(7)

(注)市町村名の後の( )の数字は、田畑欄はha、その他欄は箇所数である。

d. 被害金額

名 称	金 額 (千円)
農林水産業施設	49,098
公共土木施設	4,948,900
その他の公共施設	235
< 小 計 >	4,998,233
農 産 被 害	42,719
林 産 被 害	11,250
< 被 害 総 額 >	5,052,202

c. り災者数・り災世帯数

名 称	世帯	人	被災市町村
り災世帯数	1		長浜市
り災者数		2	

## 3. 雪 害

### 大雪(1月22日)

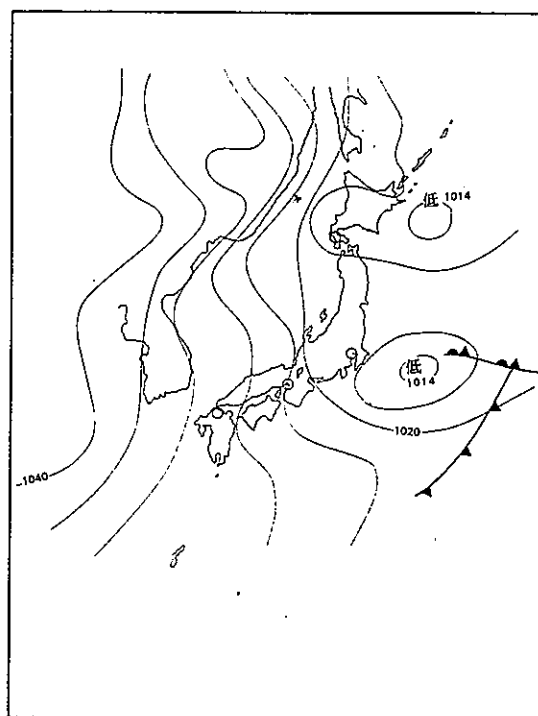
#### (1) 気象の概要

17日に高気圧の中心は日本の南海上に移り、深い気圧の谷が西日本に接近してきた。これに伴い黄海に低気圧が発生し、18日にかけて日本の南岸を発達しながら通過して西日本各地に雨を降らせた。この低気圧は順調に日本の東海上へ去っていったが、低気圧が去った後も西日本には引き続き大陸から寒気が流入する型となり、西高東低の冬型は23日まで持続した。冬型の気圧配置と強い寒気移流のため、19日の夜から近畿北部・山陰地方を中心に23日まで断続的に雪が降り続いた。積雪は平野部の多い所で30cm～50cm、山間部では70cmを超える所もあった。

#### (2) 降雪の状況

県内では20日から23日まで雪が降り、22日には大雪となった。積雪は山間部の柳ヶ瀬で60cm(23日)、平野部でも今津で31cm、彦根で29cm(共に23日)、北小松で35cm(22日)を記録した。

【1月21日午後9時の天気図】

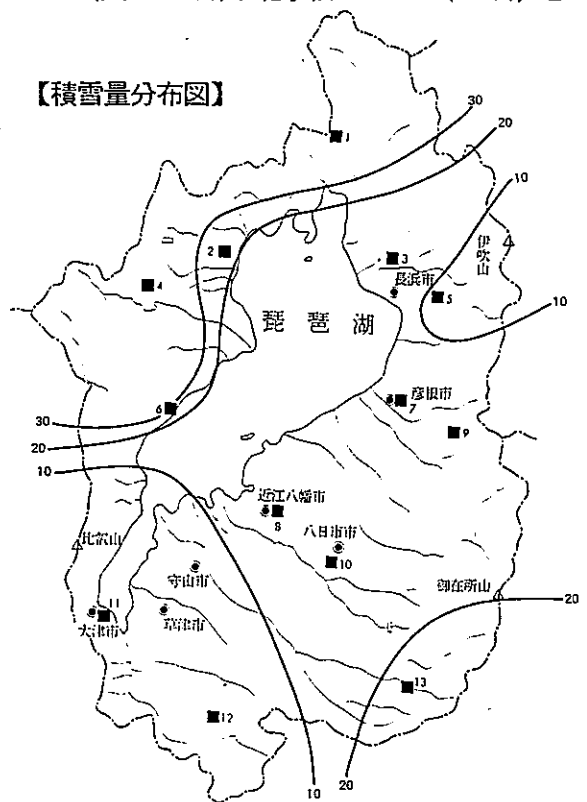


【気象台観測所積雪量】

単位(cm)

No.	観測所	22日
1	柳ヶ瀬	58
2	今津	29
3	虎姫	11
4	荒川	—
5	春照	7
6	北小松	35
7	彦根	18
8	近江八幡	15
9	霜ヶ原	—
10	蒲生	13
11	大津	—
12	信楽	—
13	土山	25

【積雪量分布図】



## (3) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

種 類	発 令 時 刻	解 除 時 刻
風雪注意報	21日午後10時20分	切替
強風大雪注意報	22日午前5時5分	警報に切替
大雪警報	22日午前9時40分	注意報に切替
風雪注意報	22日午後9時30分	23日午前9時

## (4) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	22日午前9時40分	22日午後9時30分

## (5) 被害の状況

農林水産業施設被害総額：3,852千円

## a. 施設被害

市 町 名	施 設 名	被害程度	件 数	被害額 (千円)	備 考
秦荘町	パイプハウス	全 壊	1	2,700	
合 計			1	2,700	

## b. 農作物被害

市 町 名	作物名など	面 積 (ha)	減収量 (t)	被害額 (千円)	備 考
秦荘町	花 き	0.09	—	1,152	
合 計		0.09	—	1,152	



## 4. 干 害

### 干 害(6月)

#### (1) 気象の概要

5月下旬は南岸に前線が停滞することが多かったが、北部太平洋高気圧の勢力が強いため、近畿北部・中部や山陰地方では雨が少なく、総降水量が10mm以下の所が多かった。なかでも本県北東部では全く無降水であった。6月上旬になると、日本列島は5日まで移動性高気圧におおわれた。6日には沿海州と南岸を低気圧が通り西日本は気圧の谷に入ったが、天気はあまり崩れず山陰地方の一部で雨が少し降っただけであった。8日から9日にかけて弱い気圧の谷が通過したものの11日まで高気圧におおわれ、中国地方の一部と近畿地方南部を除いて西日本の大部分の地域で6月上旬は雨の降らない日が続いた。

#### (2) 被害の状況

被 害 総 額 : 7,587千円

主な被害地域 : 守山市、中主町、安曇川町、マキノ町

##### ア. 農作物被害

市 町 名	作物名など	面 積 (ha)	減収量 (t)	被害額 (千円)	備 考
中主町	さいとう	2.5	25.0	6,500	
安曇川町	大 根	5.0	10.0	620	
合 計		7.5	35.0	7,120	

##### イ. 樹体被害

市 町 名	面 積 (ha)	状況及び数量	被害額 (千円)	備 考
マキノ町	0.71	枯死278本	467	未成園
合 計	0.71		467	

## 5.その他

### 強風(2月18日)

#### (1) 気象の概要

15日後半から16日にかけて西日本は移動性高気圧におおわれたが、早くも大陸東岸には深い気圧の谷が形成され、華北と八重山諸島に低気圧が発生した。この二つの低気圧は急速に発達しながら東北東に進み、一つは南海沿いを、もう一つは日本海に進んだ。特に北の低気圧は日本海に入ってから停滞し、中心気圧は18日午前9時には992mbにまで低下した。このため、西日本では18日から強風が吹き荒れた。

#### (2) 被害の状況

##### ア. 住家被害

名 称	棟	世帯	人	被 災 市 町 村
一部損壊	1	6	16	草津市

##### イ. 被害金額

その他の公共施設被害総額：1,310千円(草津市)

## 昭和59年(1984年)の気象概況

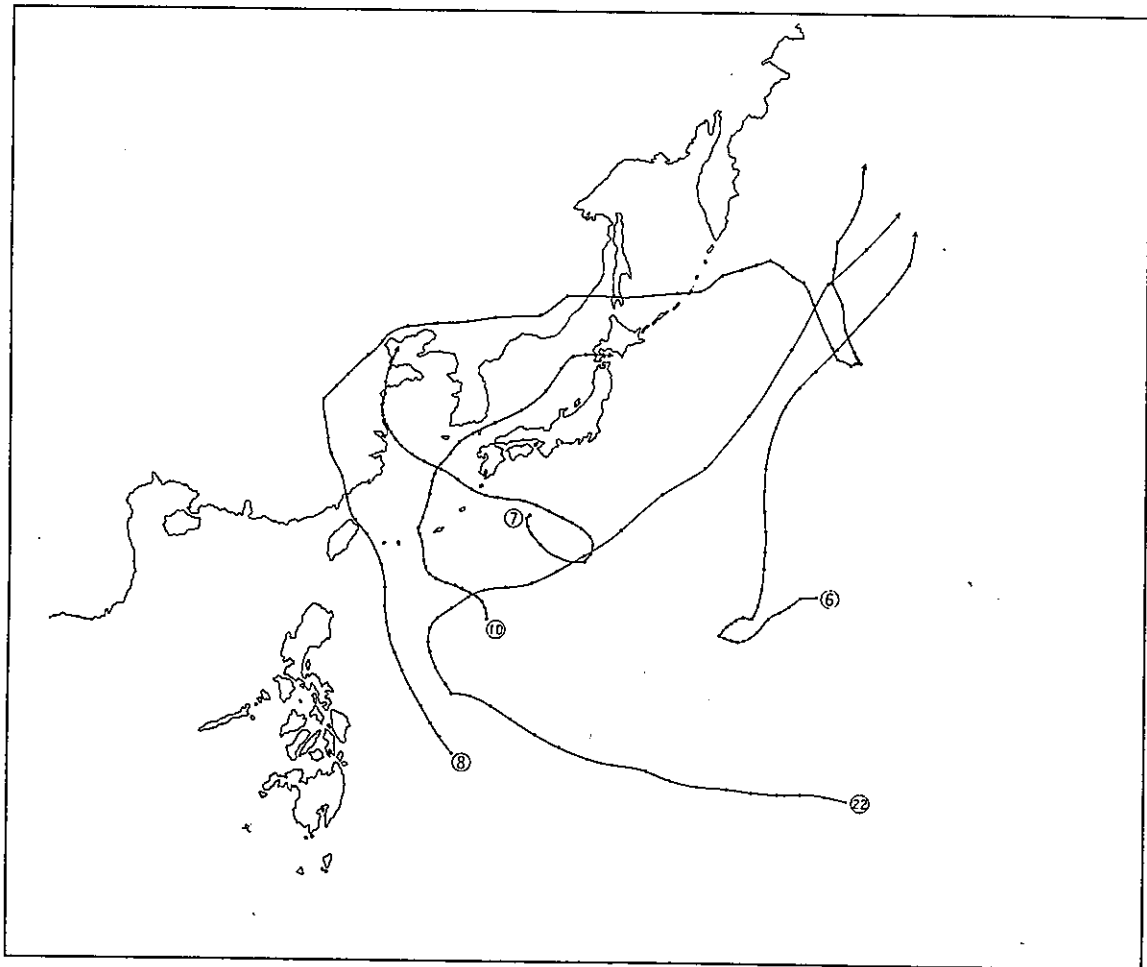
昭和59年の冬は異常低温のうえ、大雪が降り、彦根では降雪継続日数は1月21日～2月10日の21日間で、第1位の記録であった。低温傾向は春になっても続き、4月末になってようやく平年に戻った。近畿地方の梅雨入り、明けとも平年と同じ日の6月8日、7月17日であり、また梅雨期間中の降水量は平年並であった。梅雨明け後もすっきりとした天気とはならず、夏空になったのは7月末頃であった。盛夏期は、昨年同様猛暑となったが、残暑は短かく、秋の深まりは早かった。12月半ば頃から気温も下がり、下旬には強い冬型の気圧配置となり、北部を中心に大雪が降った。

# 1. 台 風

## 台風の概況

本年、日本付近で発生した台風は30個で、これは平年に比べると少ない発生数であった。台風は、上陸しなかったが、7号と10号がかなり日本に接近して、各地に災害をもたらした。なお、本県では、台風による被害はなかった。また、日本に影響を与えた台風の進路は、次の通りである。

### 【日本に影響のあった台風の経路】



### 【主要な台風の概要】

台風番号	6号	7号	8号	10号	22号
最低気圧 (mb)	955.3	986.4	987.0	971.3	978.0
最大風速(m/秒)	32.0	23.2	16.8	31.4	28.9

## 2. 豪 雨

### (1) 豪雨の状況

1年を通して全国的に少雨傾向となり大きな被害を伴った集中豪雨は例年に比べて少なかった。

なお、西日本での主な集中豪雨は、次の通りである。

月 日	場 所	主 な 原 因
4月29日から5月1日	・徳島・高知・鳥取・大阪	日本海低気圧により南から暖かい湿った空気が流入したため。
6月25日から27日	北陸から大阪府	梅雨前線が活発化したため。
8月16日から24日	西日本各地	台風10号による影響。

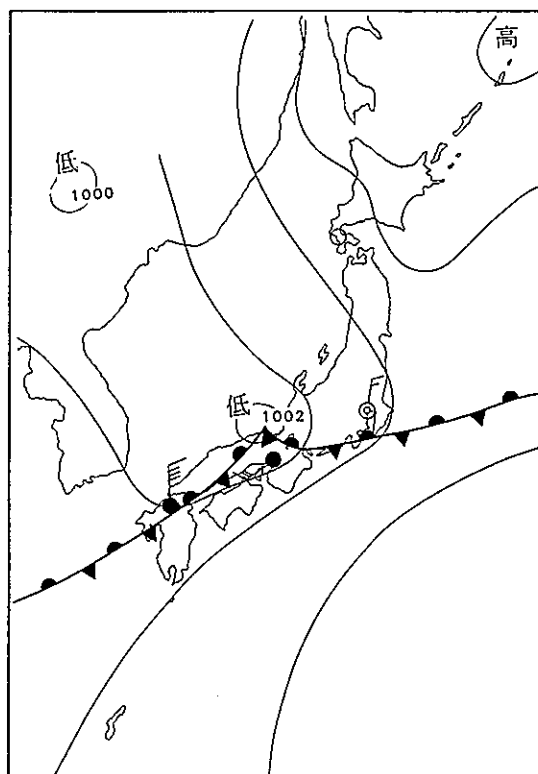
### (2) 災害の状況

#### ア. 梅雨前線大雨 (6月26日から27日)

##### (ア) 気象の概要

25日より日本海側から南下した梅雨前線の影響で継続的に雨が降り続き、26日の夜から翌27日未明にかけて、県下全域でこの梅雨一番の大雨となった。これは、梅雨前線上を低気圧が発達しながら、山陰沿岸を毎時25キロで東北東に進み、この中心より南西に伸び九州北部に達する梅雨前線が活発化し、県下を午後7時から9時にかけて南下したためである。

【6月26日午後9時の天気図】



(イ) 降雨の状況

26日の午後7時前頃より県下の所々では雷を伴った短時間の強い雨が降り、山地の多賀町霜ヶ原では1時間の降水量が42mmに達した。午後10時には、梅雨前線が近畿地方中部に南下し雨も小康状態となり、27日の午前8時すぎに止んだ。

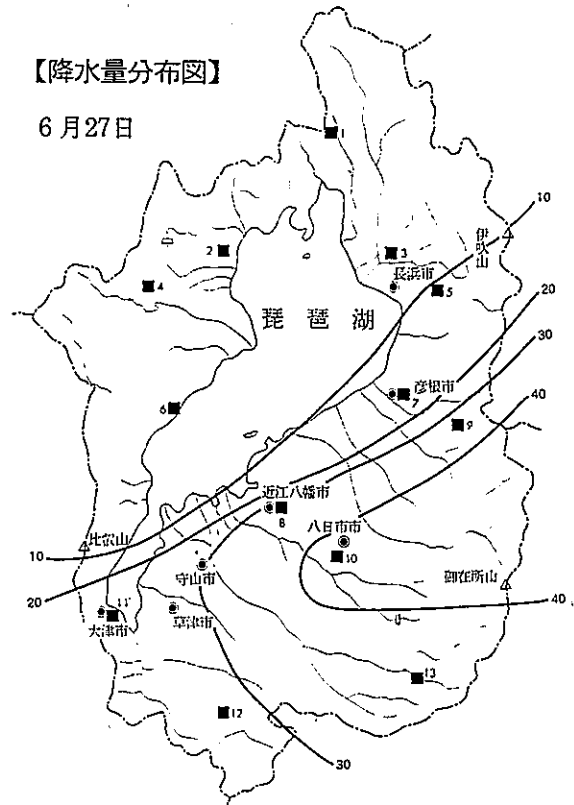
【气象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	26日	27日
1	柳ヶ瀬	48	3
2	今津	54	3
3	虎姫	67	7
4	荒川	55	4
5	春照	89	10
6	北小松	60	5
7	彦根	78	11
8	近江八幡	58	38
9	霜ヶ原	102	32
10	蒲生	69	45
11	大津	54	28
12	信楽	41	26
13	土山	45	32

【降水量分布図】

6月27日



(ウ) 出水の状況

県下全域におよぶ大雨の影響で、県内の各河川は指定水位および警戒水位を突破した。特に、中南部から東北部にかけての出水が大きく、八日市土木事務所管内の日野川、彦根土木事務所管内の犬上川、草津土木事務所管内の葉山川、長浜土木事務所管内の河川で顕著であった。

【主要河川水位表】

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
葉山川	栗東町	上鈎池導水路	1.80	1.85	27日午前7時
日野川	近江八幡市	桐原橋	3.00	3.56	27日午前9時
佐久良川	蒲生町	市子橋	1.20	1.40	27日午前6時
犬上川	彦根市	高宮橋	1.30	1.45	27日午前0時
姉川	びわ町	難波橋橋結右岸	2.70	2.82	27日午前0時

(エ) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

種	類	発令時刻	解除時刻
大雨洪水	雷雨注意報	26日午後1時15分	27日午前8時40分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	26日午後1時15分	27日午前7時40分

## (カ) 被害の状況

## a. 住家被害

名 称	棟	世帯	人	被 災 市 町 村
床下浸水	13	13	52	近江八幡市

## b. 農林水産・土木関係被害

名 称	箇 所
道 路	16
河 川	69
砂 防	3

## c. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
農林水産業施設	95,508	< 小 計 >	1,277,008
公共土木施設	1,181,500	<< 被 害 総 額 >>	1,277,008

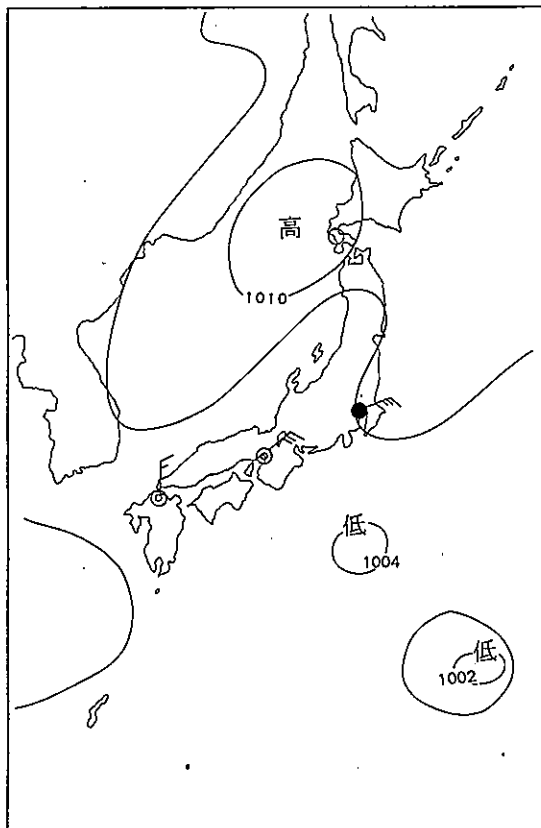
## 集中豪雨(7月20日から21日)

## イ. 集中豪雨(7月20日から21日)

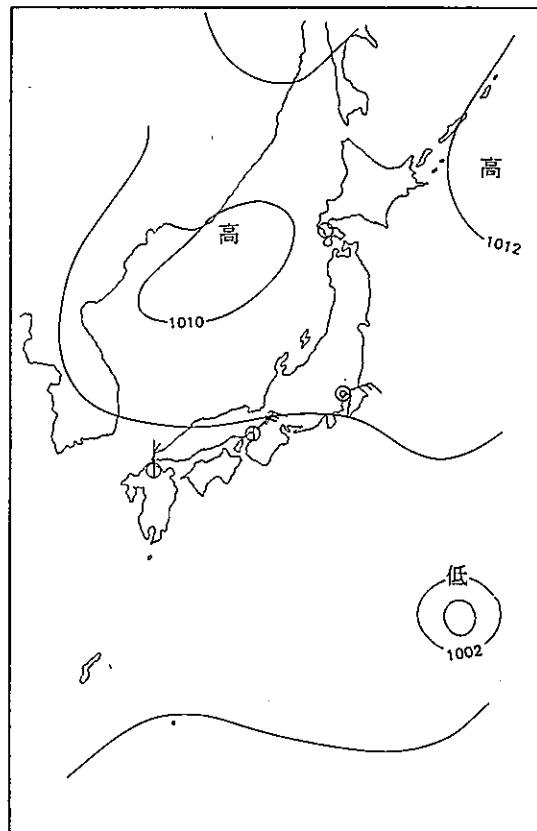
## (ア) 気象の概要

20日に大気が不安定の中を日本海西部から来た弱い気圧の谷が通過し、南部に継続的に雨が降った。

【7月20日午後9時の天気図】



【7月21日午前9時の天気図】



## (イ) 降雨の状況

南部を中心に継続的に降った雨は、翌21日の午前8時から午後2時までの短時間に、甲賀郡を中心にして、雷を伴う記録的な大雨となった。甲賀郡水口町では午前9時から10時にかけて時間雨量82mmという集中豪雨に見舞われた。信楽町では、午前10時から11時の雨量が76mm、蒲生町でも午前9時から10時の雨量が64mmに達した。しかし、この豪雨も昼過ぎには弱まり、午後2時には各地の雨は止んだ。



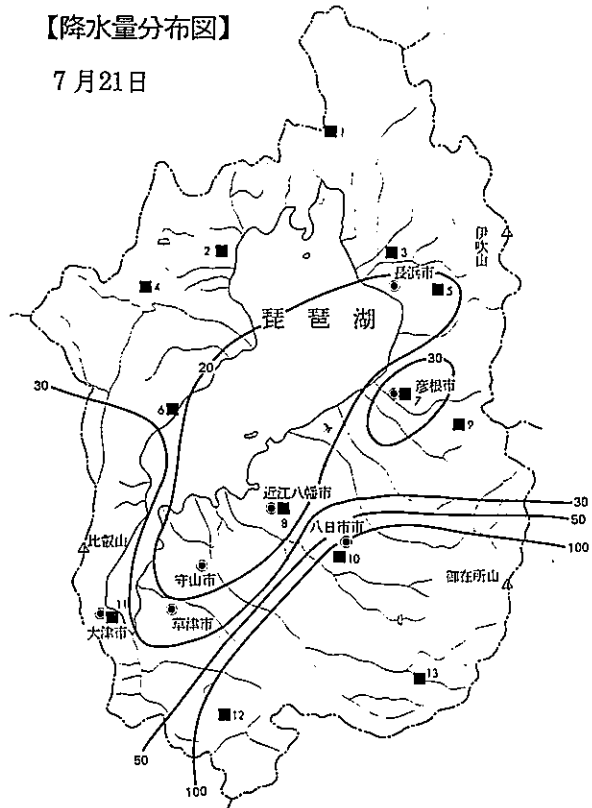
【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	20日	21日
1	柳ヶ瀬	1	24
2	今津	1	27
3	虎姫	—	20
4	荒川	—	27
5	春照	4	18
6	北小松	—	48
7	彦根	1	30
8	近江八幡	3	18
9	霜ヶ原	10	21
10	蒲生	1	105
11	大津	15	34
12	信楽	—	101
13	土山	—	128

【降水量分布図】

7月21日



## (ウ) 出水の状況

時間雨量が60mmから80mmという記録的な集中豪雨の影響により、甲賀郡内の山川、五反田川をはじめ滑川、滝川、柿田川など小河川がいたるところで氾濫、また、南部の主要河川である野洲川、杣川、日野川、祖父川でも軒並み警戒水位を突破する出水となった。

【主要河川水位表】

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
野洲川	水口町	水口橋上流右岸	1.35	1.45	21日午後2時
杣川	甲賀町	多喜橋上流左岸	2.90	3.15	21日午後1時
杣川	水口町	北杣橋上流左岸	3.00	3.20	21日午後1時
日野川	近江八幡市	桐原橋	3.00	3.82	21日午後2時
祖父川	竜王町	鵜川橋	1.50	2.30	21日午前11時

## (エ) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種類	発令時刻	解除時刻
雷雨注意報	20日午後0時20分	切替
大雨雷雨注意報	20日午前10時	切替
大雨雷雨洪水注意報	21日午前10時5分	警報に切替
大雨洪水警報	21日午前10時40分	注意報に切替
大雨雷雨洪水注意報	21日午後1時15分	21日午後4時30分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第 1 号警戒体制	20日午後 0 時20分	2 号体制に切替
第 2 号警戒体制	21日午前10時40分	1 号体制に切替
第 1 号警戒体制	21日午後 1 時15分	21日午後 4 時30分

建設省近畿地方建設局琵琶湖工事々務所では、野洲川、瀬田川に水防警報を発令し、警戒を呼びかけるとともに、県においても21日午後0時40分に日野川に水防警報を発令した。

野洲川水防警報	第 1 号待機	午前11時35分	瀬田川水防警報	第 1 号準備	午後 0 時40分
	第 2 号準備	午後 0 時 5 分		第 2 号解除	午後 3 時35分
	第 3 号出動	午後 1 時45分	日野川水防警報	第 1 号出動	午後 0 時40分
	第 4 号解除	午後 5 時40分	瀬田川水防警報	第 2 号解除	午後 7 時30分

## (カ) 被害の状況

## a. 住家被害

名 称	棟	世帯	人	被 災 市 町 村 (棟,世帯,人)
軽 傷			1	石部町
一 部 損 壊	1	1	3	甲西町
床 上 浸 水	49	45	181	甲西町(1,1,3),水口町(46,43,172),信楽町(2,1,6)
床 下 浸 水	483	413	1,763	石部町(7,7,28),甲西町(24,24,91),水口町(316,316,1360), 土山町(33,8,48),甲南町(16,16,65),信楽町(77,32,131), 八日市市(5,5,19)日野町(2,2,10),竜王町(3,3,15)

## b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称		ha	箇所	区分・名称		ha	箇所
田	流 失 ・ 埋 没	10.8		そ の 他	道 路		56
	冠 水	60.0			河 川		131
畑	冠 水	5.0			砂 防		3

## c. り災者数・り災世帯数

世 帯	被災市町村
49	甲西町

## d. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
農林水産業施設	532,089	農 産 被 害	6,666
公共土木施設	1,162,900	畜 産 被 害	400
< 小 計 >	1,694,989	《 被 害 総 額 》	1,702,055

## e. その他の状況

鉄 道 不 通 区 間	原 因
国鉄草津線の三雲～甲南間、国鉄信楽線全区間	線路に冠水や土砂くずれのため不通
近江鉄道	冠水や軌道敷の土砂の流失により不通

## 3. 雪 害

### 豪雪(1月から3月)

#### (1) 気象の概要

1月上旬のはじめは幾分冬型が弱まったが、旬半ば頃より再び冬型が強まり、北部を中心に雪の日が多かった。旬末には冬型もゆるみ比較のおだやかな天候であった。

1月下旬のはじめは、本州南岸と日本海を低気圧が通り南部でも雪があり、その後も冬型が続き、北部を中心に雪の日が多くかなりの雪が降った。

2月のはじめは、低気圧が発達しながら通過したあと、季節風が強まり、冬型の気圧配置が連日つづき、6日より更に強い寒気が入り、北部を中心に各地で雪が降り続いた。上旬より続いた強い冬型の気圧配置も、中旬に入りようやく弱まり、日本海や本州の南岸を低気圧が通ったあと、冬型の気圧配置となったが、長つづきはしなくなり、気温もほぼ平年並に回復した。その後、月末にかけて強い寒気が入り、再び冬型の寒い天気が続いた。

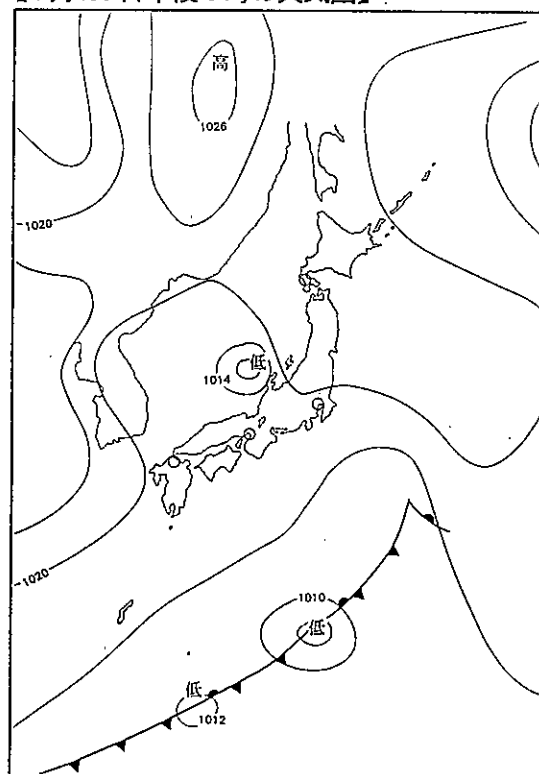
3月上旬は、初め一時冬型がゆるんだが、半ば頃から強い寒気が日本の上空に南下し、再び冬型となり北部を中心に降雪が続いた。

この豪雪をもたらした寒気団の影響で殆どの日が平年と比べ、かなり低い厳寒の日々が続いた。特に比叡山の観測所では冬期(12月・1月・2月・3月)の平均気温が全てマイナスを記録し、中でも2月の平均気温は $-4.7^{\circ}\text{C}$ となり、異常な低温の冬となった。彦根気象台においても、平年に比べかなり低温の日が続き、信楽町では2月の平均最低気温が $-5.4^{\circ}\text{C}$ 、土山町でも $-3.8^{\circ}\text{C}$ と、異常な寒さとなった。

#### (2) 降雪の状況

1月16日早朝より大雪となり、北部を中心に18日まで続いた。19日に九州南岸に低気圧が発生し、太平洋を東に進んだため南部を中心に信楽町で9cm、土山町で6cm、大津市で4cmの積雪を観測した。20日および21日の午前中は、冬型もゆるみ好天となったがこれも長つづきせず、21日の午後から再び冬型の気圧配置が強まり、2月10日頃まで降雪が続いた。

【1月21日午後9時の天気図】



1月24日から降り出した雪は1日に20cmから30cmの状態以降り続き湖北全域、湖西の高島郡、湖東の永源寺町に豪雪をもたらし、湖北地域では昭和56年の豪雪に近い積雪となり、湖西、湖北両地域ではそれを大幅に上回る積雪となった。また、2月5日頃からは、バイカル湖付近の寒気が日本海まで南下したため、北部を中心に大雪となった。とりわけ、2月6日から7日にかけて今津町保坂で1日の降雪量が95cmを記録したのをはじめ、2月7日から8日にかけては余呉町中河内で60cmを記録した。この豪雪は、1月下旬に本州南岸と日本海を低気圧が通り、その後、冬型の気圧配置が続き、さらに、2月6日から強い寒気団が、日本の上空に居座ったためである。

2月上旬より続いた強い冬型の気圧配置も中旬には、一時、弱まったが、月末には再び強い寒気が入り、冬型の寒い天気が続き、記録的な大雪となった。

今回の豪雪による積雪量は、特に湖西地方では56年の豪雪を上まわり、今津町保坂の積雪4.3mを最高に伊吹町甲津原で3.8m、多賀町大君ヶ畑で3.5m、大津市葛川で1.85mに達した。

主な地区の最大積雪深は次のとおりである。

【最大積雪深状況】

単位(cm)

保 坂(今津町)	430 (315)	彦 根 市	71 (35)
中 河 内(余呉町)	420 (655)	長 浜 市	117 (105)
中 牧(朽木村)	380 (200)	今 津 町	165 (110)
大君ヶ畑(多賀町)	350 (170)		

(注) ( )内は56年の豪雪時の数値

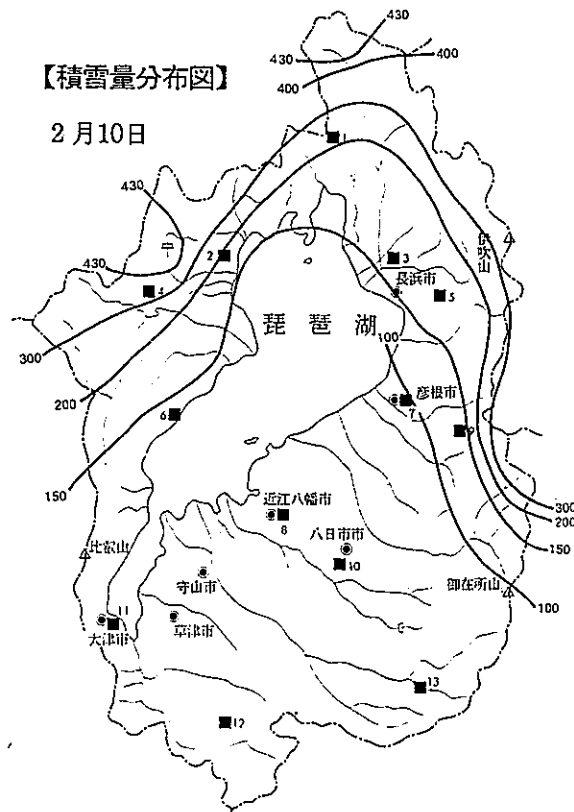
(3) 今回の大雪の特性

ア. 昭和56年豪雪は湖北(伊香郡、東浅井郡、長浜市、坂田郡)を中心に大雪域があったが、今年も、北部のうちでも、特に今津から彦根、関ヶ原地方にかけ、記録的な大雪となった。

イ. 本州南岸低気圧に伴ない、県南部に大雪が発生した。特にこの雪は湿度が高く、湖南地方の施設農業に大きな損害を与えた。

ウ. 気温が平年に比べ低く、北部の雪は湿度の低い、軽い雪質であった。

【積雪量分布図】



## 【気象台観測所積雪量】

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
1	柳ヶ瀬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	今津	10	9	7	5	9	18	14	12	10	8
3	虎姫	2	0	—	—	—	6	5	3	0	—
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	—	—	—	—	5	19	13	0	2	1
6	北小松	—	—	—	—	8	0	—	—	—	—
7	彦根	—	—	—	—	5	6	0	—	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	1	10	0	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	1	1	0	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	4	0	—	—	—
12	信楽	—	—	—	1	0	4	0	—	—	—
13	土山	1	0	—	1	1	1	0	—	—	—

No.	観測所	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	柳ヶ瀬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	今津	4	12	10	9	5	12	41	61	54	46
3	虎姫	—	—	2	0	—	12	38	45	25	18
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	0	—	2	0	—	10	40	53	35	30
6	北小松	—	—	—	—	—	8	2	2	0	—
7	彦根	—	0	—	—	—	5	30	30	21	16
8	近江八幡	—	4	0	—	—	4	1	0	3	0
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	1	0	—	—	—	—	—	3	0
11	大津	—	1	0	—	—	—	—	—	4	4
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	9	6
13	土山	—	2	0	—	—	—	—	—	6	0

No.	観測所*	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	柳ヶ瀬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	今津	42	42	31	48	49	43	57	54	59	55	53
3	虎姫	15	20	25	19	25	20	50	48	47	42	40
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	15	15	11	12	12	13	47	48	54	53	51
6	北小松	—	—	—	—	—	—	19	7	27	18	6
7	彦根	13	18	10	8	5	3	28	17	23	20	18
8	近江八幡	—	3	0	—	—	—	9	0	10	3	5
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	9	0	—	—	—	7	0	12	0	6
11	大津	0	2	0	—	—	—	1	0	15	5	10
12	信楽	0	12	0	—	—	—	—	—	7	2	16
13	土山	—	6	0	2	1	0	1	0	11	0	11

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
1	柳ヶ瀬	180	159	159	160	169	169	187	197	235	240
2	今津	62	49	46	75	74	73	99	97	95	101
3	虎姫	41	31	28	29	33	37	68	95	108	115
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	49	37	34	31	30	35	75	100	120	155
6	北小松	0	—	—	48	28	33	38	56	48	58
7	彦根	20	10	7	17	15	12	51	68	69	73
8	近江八幡	8	0	—	24	0	—	1	1	1	6
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	21	9	7	32	25	13	12	8	6	9
11	大津	5	2	0	8	0	0	1	0	0	5
12	信楽	20	0	—	20	0	—	—	—	—	5
13	土山	0	—	—	22	0	—	—	—	—	11

No.	観測所	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	柳ヶ瀬	227	219	328	202	194	217	204	203	204	199
2	今津	95	89	87	76	77	75	73	74	76	74
3	虎姫	105	95	85	73	62	80	71	70	70	70
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	145	105	100	85	70	88	70	74	72	70
6	北小松	30	15	8	5	0	—	—	—	2	0
7	彦根	60	51	47	36	28	38	29	34	38	30
8	近江八幡	1	0	—	—	—	1	0	7	4	0
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	7	5	13	10	7	6	7	25	19	14
11	大津	0	—	6	0	—	—	—	16	4	0
12	信楽	0	—	10	0	—	—	—	18	0	—
13	土山	0	—	10	0	—	—	—	17	2	0

No.	観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
1	柳ヶ瀬	196	189	178	173	169	166	167	171	176
2	今津	69	63	56	50	46	43	41	50	52
3	虎姫	65	65	47	46	33	26	20	28	35
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	67	65	55	46	40	38	38	50	60
6	北小松	—	—	—	—	—	—	—	14	0
7	彦根	27	22	19	15	7	3	0	16	16
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	6	0
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	7	2	0	—	—	—	—	7	0
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	2	0
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	1	0
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	2	0

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
1	柳ヶ瀬	205	197	190	202	226	249	225	229	219	213
2	今津	51	47	44	44	54	41	39	38	35	33
3	虎姫	70	45	30	28	28	29	38	33	33	30
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	75	55	52	53	51	54	52	45	40	38
6	北小松	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	8	4	1	0	0	—	2	0	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	—	—	—	—	—	1	0	—	—

No.	観測所	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	柳ヶ瀬	215	218	218	212	209	203	197	196	190	193
2	今津	42	38	35	32	31	23	17	8	0	—
3	虎姫	28	28	24	24	20	18	5	4	3	0
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	40	51	44	40	37	28	20	17	15	13
6	北小松	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	7	0	—	—	—	—	—	—	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—	6	0
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	3	0
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0

No.	観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	柳ヶ瀬	191	193	188	184	185	177	171	166	161	157	147
2	今津	—	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—
3	虎姫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	10	12	4	0	—	—	—	—	—	—	—
6	北小松	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	—	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	5	0	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—



## (4) 気象官署のとした処置

	種 類	回数	日 時
1 月	大雪注意報	10回	5 日, 16日, 17日, 19日, 26日, 27日(2), 29日, 31日(2)
	風雪注意報	5回	16日, 19日, 25日, 28日, 31日
	なだれ注意報	13回	17日, 26日(2), 27日(2), 28日(2), 29日(2), 31日(4)
	着雪注意報	2回	26日, 31日
	大雪警報	1回	26日
	2 月	大雪警報	2回
大雪注意報		8回	3 日, 6 日, 8 日(2), 9 日(2), 12日, 17日
風雪注意報		6回	3 日, 6 日, 15日, 27日, 28日, 29日
洪水注意報		1回	22日
なだれ注意報		34回	2 日, 3 日(2), 4 日(2), 6 日(3), 7 日, 8 日(2), 9 日(2), 10日, 11日, 12日(2), 14日, 15日(2), 16日, 17日(2), 18日, 22日, 23日, 24日(2), 25日, 26日, 27日, 28日, 29日(2)
異常低温注意報		1回	8 日
大雪情報		3回	7 日(2), 9 日
3 月		種 類	回数
	風雪注意報	3回	3 日, 11日, 21日
	異常乾燥注意報	1回	27日
	なだれ注意報	18回	1 日, 3 日, 4 日, 10日, 11日(3), 12日(2), 17日, 18日, 19日, 20日, 21日, 22日(2), 27日, 31日

## (5) 県の対策状況

県では、2月7日午後3時に土木部に道路雪害対策本部を設置したが、その後さらに雪害が広がる中で2月9日午後5時に災害対策基本法に基づき県庁に雪害対策本部を、彦根、長浜、今津の各県事務所に雪害対策本部を設置した。

また、関係市町村においても、対策本部が設置された。

なお、雪害対策本部、除雪対策本部を設置した市町村は次のとおりである。

高島郡（マキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町）

伊香郡（高月町、木之本町、余呉町、西浅井町）

東浅井郡（浅井町、虎姫町、湖北町、びわ町）

坂田郡（山東町、伊吹町、米原町、近江町）

長浜市

犬上郡（多賀町）

彦根市

神崎郡（永源寺町）

大津市（葛川地区）

計 3市 19町 1村

## (6) 被害の状況

## ア. 住家被害

区分・名称	棟	世帯	人	被災市町村	
重傷			14	彦根市(2),長浜市(1),山東町(1),浅井町(2),虎姫町(1),西浅井町(4),朽木村(2),安曇川町(1)	
軽傷			12	山東町(5),米原町(1),虎姫町(1),湖北町(5),安曇川町	
住家	全壊	4	4	6	多賀町(3,3,5),朽木村(1,1,1)
	半壊	3	3	17	長浜市(2,2,13),朽木村(1,1,4)
	一部損壊	876	856	3,410	中主町(1,1,8),甲西町(1,1,5),永源寺町(7,7,24),彦根市(13,13,50),湖東町(1,1,6)泰荘町(1,1,5)豊郷町(3,3,12),甲良町(47,45,169),多賀町(104,104,380),長浜市(95,81,401),山東町(56,56,237),伊吹町(21,21,70),米原町(34,34,153),近江町(35,35,140),虎姫町(2,2,8),湖北町(31,31,140),びわ町(7,7,33),高月町(4,4,20),木之本町(29,26,76),余呉町(16,15,23),西浅井町(7,7,21),マキノ町(18,18,76),今津町(41,41,140),朽木村(34,34,97),安曇川町(163,163,623),高島町(38,38,155),新旭町(67,67,338)
	床上浸水	2	2	10	新旭町
	床下浸水	22	22	111	長浜市(12,12,61),山東町(1,1,5),新旭町(9,9,45)
非住家	公共建物	21			泰荘町(1),長浜市(6),山東町(1),浅井町(1),湖北町(1),びわ町(1),木之本町(6),西浅井町(1),朽木村(2),高島町(1)
	その他	284			永源寺町(6),彦根市(1),泰荘町(1),甲良町(21),多賀町(18),長浜市(33),山東町(17),伊吹町(7),米原町(12),浅井町(6),湖北町(14),びわ町(2),高月町(5),木之本町(13),西浅井町(1),マキノ町(16),今津町(8),朽木村(40),安曇川町(18),高島町(5),新旭町(40)

(注)重傷及び軽傷についての( )欄は人,住家被害の( )欄は棟,世帯,人,非住家についての( )欄は棟数である。

## イ. 農林水産・土木関係被害

名称	箇所	戸	被災市町村
学 校	71		永源寺町(6),彦根市(17),長浜市(4),米原町(1),浅井町(7),湖北町(3),高月町(2),木之本町(12),余呉町(3),マキノ町(2),今津町(10),朽木村(1),新旭町(3)
病 院	1		湖北町
道 路	105		永源寺町(7),長浜町(38),伊吹町(6),虎姫町(3),木之本町(1),余呉町(5),西浅井町(1),マキノ町(22),今津町(1),朽木村(21)
橋りょう	1		木之本町
河 川	11		木之本町(1),今津町(3),県管理(7)
砂 防	5		朽木村(5)
崖くずれ	20		木之本町(2),マキノ町(5),朽木村(13)
水 道		141	永源寺町(4),多賀町(2),長浜市(67),木之本町(1),西浅井町(6),マキノ町(3),朽木村(2),安曇川町(6),新旭町(50)

## ウ. リ災者数・リ災世帯数

名 称	世帯 人	被 災 市 町 村
リ災世帯数	9	多賀町(3),長浜市(2),朽木村(2),新旭町(2)
リ災者数	33	多賀町(5),長浜市(13),朽木村(5),新旭町(10)

## エ. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
公立文教施設	18,802	林産被害	1,788,136
公共土木施設	127,700	畜産被害	15,156
その他の公共施設	64,980	商工被害*	36,225
< 小 計 >	211,482	<< 被害総額 >>	2,973,003.9
農産被害	922,004.9		

## オ. その他の状況

	昭和59年豪雪に対する応急対策実施状況
長 浜 市	今回の豪雪に関しては、特に排雪班を編成し、除雪作業の円滑化を図った。市内には、独居老人が約390名いるが、その屋根の雪降ろし等について民生委員自治会長等を中心に近隣住民の協力で実施した。学校、幼稚園等の公共施設の除雪については、父母、P T A、関係委員の協力と関係職員の派遣により実施した。
山 東 町	道路除雪については、町の直営車両だけではなく、町内業者に委託し幹線町道の除排雪を実施し、各集落内の道路等については、各自治会、企業等の協力により緊急、救急車両の通行を確保した。公共施設の除雪については関係職員の派遣により実施した。
伊 吹 町	道路除雪については町の直営車両だけでなく、業者委託とともに、各自治会が自発的に作業を実施した。公共施設の除雪は職員を派遣して実施。
米 原 町	町管理道路については、すべて業者委託で実施。学校施設の除雪は業者委託とし、その他公共施設の除雪は職員が実施。
近 江 町	幹線町道については、業者委託で実施し、各集落内等については各自治会に協力要請をし、実施した。公共施設の除雪は職員により実施。
浅 井 町	幹線道路、生活道路除雪は直営車両を中心に行ったが、長期におよぶ降雪により排雪作業の必要性も増大し、業者委託による除排雪を実施した。公共施設に関しては職員により除雪を実施したが、学校等についてはP T A等の協力を得て実施した。
虎 姫 町	町の直営除雪車だけでは十分な作業ができず業者委託をし、除排雪作業を実施した。公共施設はもとより生活保護世帯の除雪についても、職員を派遣して実施した。
湖 北 町	幹線道路、生活道路確保を最重要と考え、直営車両のフル活用とともに業者委託も実施。集落内道路については、住民の協力を得て除雪を行った。公共施設の除排雪作業についても職員とともに施設利用者の協力のもと除排雪作業を実施した。
び わ 町	道路除雪については、直営除雪車により実施し、除雪車により作業が出来ない道路は各自治会の協力を得て実施した。公共施設の除雪については、P T A等の協力を得て職員により実施し老人家庭等については付近住民に協力依頼した。
高 月 町	道路除雪については、第3次態勢により業者委託により除排雪を実施した。公共施設については、各施設の関係職員、作業員により早朝に実施し、独居老人、ねたきり老人家庭等については関係職員が除雪作業を実施。
木之本町	道路除雪については、直営車両はもとより地元業者に対して委託し、除排雪を行った。2月7日からは一部集落で上水道の断水が発生したので、ポリ容器による配水を行っていたが追いつかず、11日には彦根市水道部から給水車を借入れ応急処置を実施した。公共施設の除雪は施設関係者の協力のもと職員も派遣し行った。
余 呉 町	幹線道路、生活道路確保については、直営車両とともに、業者委託を行い実施した。また集落内道路は自治会協力で除排雪作業を行った。公共施設の除雪は、役場職員を班編成し、組織的に実施した。また2月中旬の特にひどかった時には24時間体制をとり、除雪態勢を整えた。
西浅井町	主要道路、生活道路確保のため、直営除雪車をフル活動し、建設業者等への委託をし、強力で除排雪を行った。また公共施設については、役場職員、学校職員、P T A等が実施し大きな被害を出さずに済んだ。

通 行 止 区 間	原 因
国道365号線=樺坂人家以北	なだれのため(2/23 12:30~3/31の予定) 2/28~排雪作業を実施し、約5台で緊急車のみ 通行可能となる見込み
県道、中河内~木之本線=菅並以北	なだれ危険のため(2/23~3/10までの見込み)
県道、麻生~古屋~梅ノ木線 中牧~能家間	なだれ危険のため(期間不明)
国道161号線 マキノ町路原	なだれの為 片側通行

2月12日

名 称	通 行 止 区 間	チェーン規制、速度規制等区間	
国道303号線	今津町保坂~福井県境	名神、上り、下り、天王寺~関ヶ原IC 北縦、上り、下り、米原IC以北	時速50km規制
国道303号線	マキノ海津~西浅井町大浦	国道1号線 大津市内逢坂山地先、草津以東 国道8号線 彦根以北	チェーン規制
国道306号線	多賀町佐目~三重県境	国道21号線 県内全線 国道161号線 今津町以北、西大津バイパス	
国道367号線	大津市途中町~朽木村栃生	国道303号線 県内全線 国道306号線 県内全線	
県 道 麻生古屋梅ノ木線全線		国道307号線 県内全線	
		国道365号線 県内全線	
		国道367号線 県内全線	
		県道下鴨大津線、真野途中線、大津信楽線	

2月13日

通 行 止 区 間	チェーン規制、速度規制等区間	
国道303号線 今津町保坂~福井県境	名神、上り、下り、天王寺~関ヶ原IC	時速50km規制
国道303号線 マキノ海津~西浅井町大浦	北縦、上り、下り、米原IC以北	
国道306号線 多賀町佐目~三重県境(大君ヶ畑)	国道1号線 大津市内逢坂山地先、草津以東	チェーン規制
国道367号線 大津市途中町~朽木村栃生	国道8号線 彦根以北	
県 道 麻生古屋梅ノ木線全線	国道21号線 県内全線	
	国道161号線 今津町以北、西大津バイパス	
	国道303号線 県内全線	
	国道306号線 県内全線	
	国道307号線 県内全線	
	国道365号線 県内全線	
	国道367号線 県内全線	
	県道下鴨大津線、真野途中線、大津信楽線	

2月14日午前9時

路線名	通行止区間
国道303号線	今津町保坂から福井県境
国道303号線	マキノ町海津から西浅井町大浦
国道306号線	多賀町佐目から三重県境
国道367号線	大津市途中町から朽木村栃生
県道麻生古屋梅ノ木線	全線

2月14日

通行止区間	チェーン規制、速度規制等区間	
国道303号線 今津町保坂～福井県境 (14日正午までの予定)	名神 下り：関ヶ原IC～米原JC 上り：彦根IC～米原JC	時速50km規制
国道306号線 多賀町佐目～三重県境	北縦、上り、下り、米原IC以北	チェーン規制
国道367号線 大津市途中町～朽木村 栃生	国道8号線 米原町以北	
県道 麻生古屋梅ノ木線全線	国道21号線 県内全線	
	国道161号線 今津町以北	
	国道303号線 県内全線	
	国道306号線 県内全線	
	国道307号線 県内全線	
国道365号線 県内全線		
国道367号線 県内全線		
県道下鴨大津線		

路線名	通行止区間	2月10日から2月13日にかけて
国道303号線	水坂峠～福井県境	
国道306号線	多賀町佐目～大君ヶ畑	
国道307号線	大津市途中以北～朽木村境	
麻生古屋梅ノ木線	大津市梅ノ木～朽木村麻生	

2月15日

路線名	通行止区間	チェーン規制、速度規制等区間
国道303号線	今津町水坂峠以西	北縦 福井県敦賀以北
国道306号線	多賀町佐目から大君ヶ畑	県内北部道路チェーン提行
国道367号線	途中から朽木村栃生	

2月18日午前9時

路線名	通行止区間
国道306号線	多賀町佐目～同大君ヶ畑
国道367号線	大津市途中村～朽木村栃生
県道麻生古家梅ノ木線	朽木村能家～大津市梅ノ木
※国道303号線	今津町保坂から福井県境は17日午前0時開通

## 昭和60年(1985年)の気象概況

年末以来の冬型の気圧配置がゆるみ、穏やかな正月となったが、その後再び冬型の気圧配置にもどり、月末頃北部を中心にかなりの降雪があった。2月に入り寒さはゆるみ穏やかな立春を迎えた。その後気圧の谷が周期的に通過するようになりぐずついていた天気であった。

3月から4月にかけては全般に気温はやや高目であった。近畿地方の梅雨入りは6月7日(平年6月8日)で、梅雨明けは7月15日(平年7月17日)であった。6月21日には西日本南岸に停滞していた梅雨前線が北上し、又28日から台風6号の北上と暖湿気流の移流により、再び停滞前線が活発となり、連日大雨が続いた。その後前線の活動も周期的になり7月14日まで大雨、長雨が続いた。梅雨期間中の総降水量は574.0mmで平年(413.0mm)に比べやや多雨であった。

梅雨明け後は次第に太平洋高気圧に覆われ、盛夏期は昨年を上回る猛暑となり、最高気温が30℃を越す日が継続して35日もあった。8月は連日の猛暑と安定した太平洋高気圧におおわれて雨量も少なく月降水量は28.5mmと少なかった。その後9月から10月にかけて高温傾向であった。12月に入って周期的に冬型気圧配置となり、12月9日で彦根で初雪を観測した。12月中頃より冬型気圧が強まり、寒気の南下で県下全般に20cm前後の積雪となった。

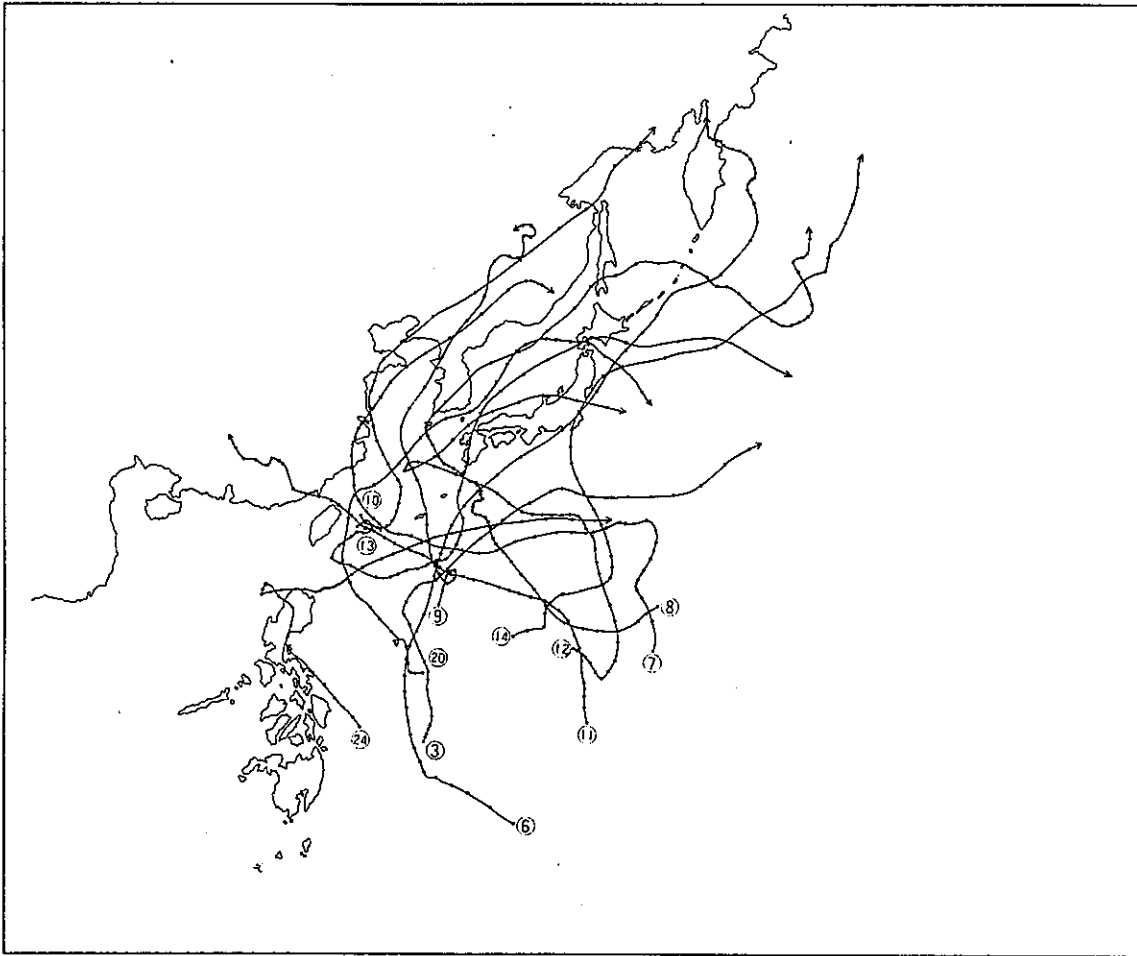
# 1. 台 風

## 台風の概況

今年の台風の発生数は27個で、そのうち日本に上陸した台風は、6号、13号、14号の3個で、その他、9個の台風が、沖縄、九州地方等の近海に接近あるいは通過した。

なお、日本に影響を与えた台風の進路は、次の通りである。

### 【日本に影響のあった台風の経路】



### 【主要な台風の概要】

台風番号	3号	6号	7号	8号	9号	10号
最低気圧 (mb)	995.0	968.3	980.0	970.7	985.5	998.7
最大風速(m/秒)	20.6	32.9	19.0	20.6	29.3	15.2
台風番号	11号	12号	13号	14号	20号	24号
最低気圧 (mb)	964.5	987.0	958.5	989.9	960.5	996.7
最大風速(m/秒)	34.7	31.5	36.5	26.2	37.8	15.5



## 2. 豪 雨

### (1) 豪雨の状況

本年は、7月に前線が南北に移動することが多くなり、広い範囲で大雨となった。1日には、台風6号が上陸し、東日本を早い速度で通過したため、雨の継続時間が短かく総降水量はわりあい少なかった。

なお、西日本での主な集中豪雨は、次の通りである。

月 日	場 所	主 な 原 因
4月11日から13日	西日本各地	四国沖で閉塞していた低気圧が東へ進んだため。
5月13日から14日	九州地方	前線の活動が活発化したため。
5月19日から20日	山口県、長野県	前線を伴った低気圧が日本海を通過したため。
5月28日	沖縄、長崎、徳島各県	低気圧の東進。
6月7日	鹿児島県	低気圧の東進に伴い、前線が北上したため。
6月18日から7月14日	全国	前線が北上し、梅雨前線が活発化し、さらに台風6号の影響をうけたため。

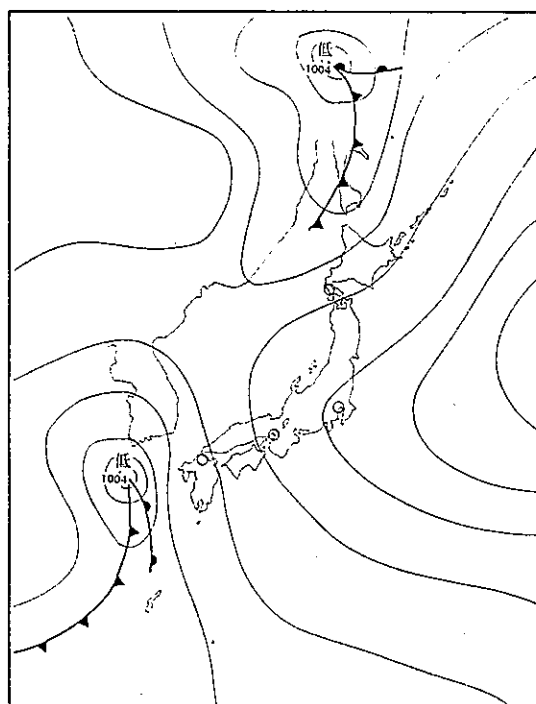
### (2) 災害の状況

#### ア. 豪雨 (4月3日から4日)

##### (ア) 気象の概要

発達中の低気圧の通過に伴い強風を伴った雨が3日の夕刻より降り始めた。

【4月3日午前9時の天気図】



(イ) 降雨の状況

雨は3日の夕刻から湖東地方では永源寺町を中心に、湖西地方では今津町および朽木村を中心に激しく降った。

特に永源寺町政所では、4日午前6時から7時の1時間に23mmの雨量を記録し、4日の総雨量は68mmに達した。

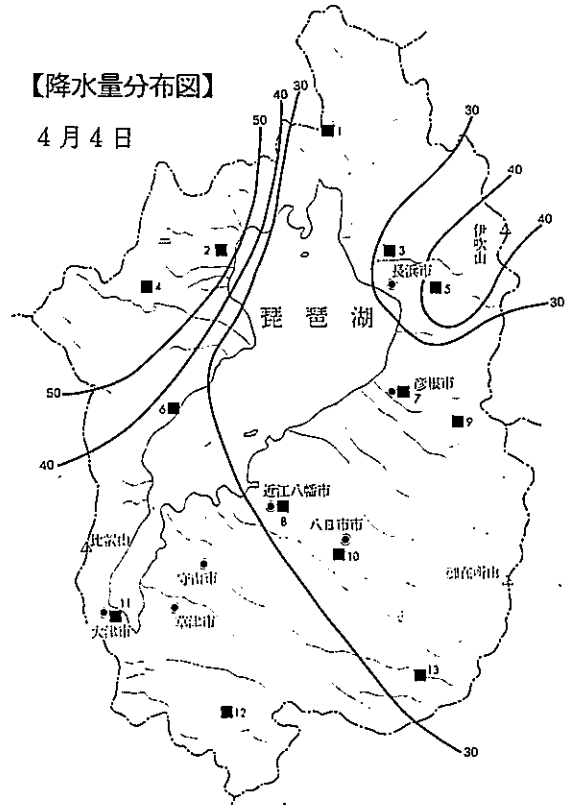
【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	3日	4日
1	柳ヶ瀬	—	28
2	今津	9	51
3	虎姫	—	30
4	荒川	—	—
5	春照	3	48
6	北小松	3	39
7	彦根	—	28
8	近江八幡	—	26
9	霜ヶ原	—	—
10	蒲生	—	29
11	大津	—	25
12	信楽	1	31
13	土山	9	37

【降水量分布図】

4月4日



(ウ) 被害の状況

a. 農林水産・土木関係被害

名称	箇所	被災市町村
道路	3	安曇川町(2),高島町(1)

b. 被害金額

名称	金額(千円)
公共土木施設	27,704
< 小計 >	27,704
<< 被害総額 >>	27,704

## イ. 台風6号と梅雨前線豪雨 (6月21日から7月19日)

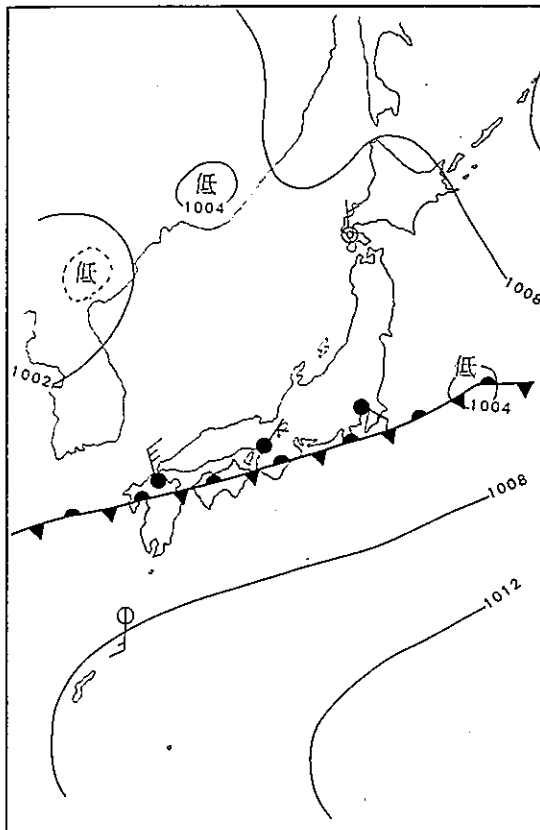
## (ア) 気象の概要

21日夜半より梅雨前線が西日本に停滞し、活動が活発になり、断続的に強く雨が降った。特に25日夜半から降り出した雨は湖南、湖西方面を中心に大雨となり、県下全域は、この梅雨一番の大雨となった。

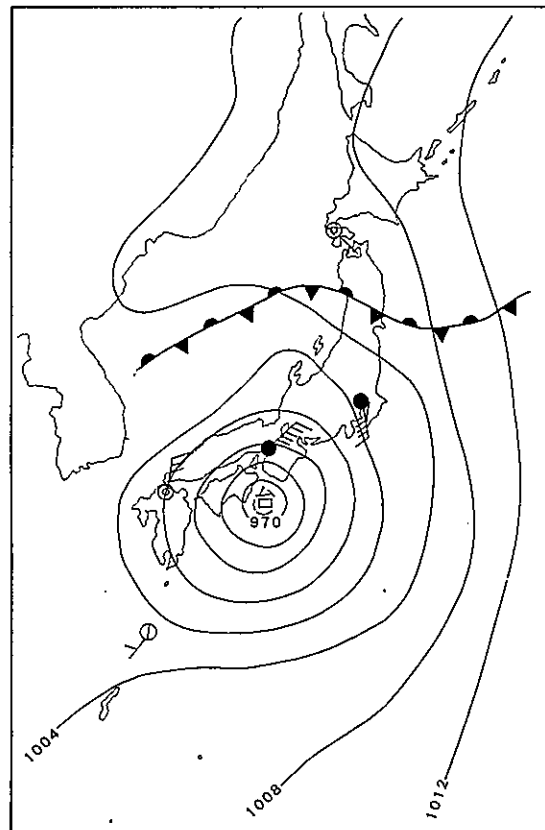
その後も周期的に雨は降り続き、28日には梅雨前線が西日本の真上に停滞し前線を低気圧が通過したため大雨となった。

また、梅雨前線を刺激しながら北上していた大型で並の強さをもった台風6号は30日の午後、四国沖を北東に進むコースを取り、夜半過ぎには紀伊半島をかすめた。この台風6号の通過に伴い、県下全域は大雨となった。

【6月25日午後9時の天気図】



【6月30日午前9時の天気図】



## (イ) 降雨の状況

雨は21日の夜半から県下全域にわたって降り始め、26日を除き7月1日の朝まで断続的に降り続いた。

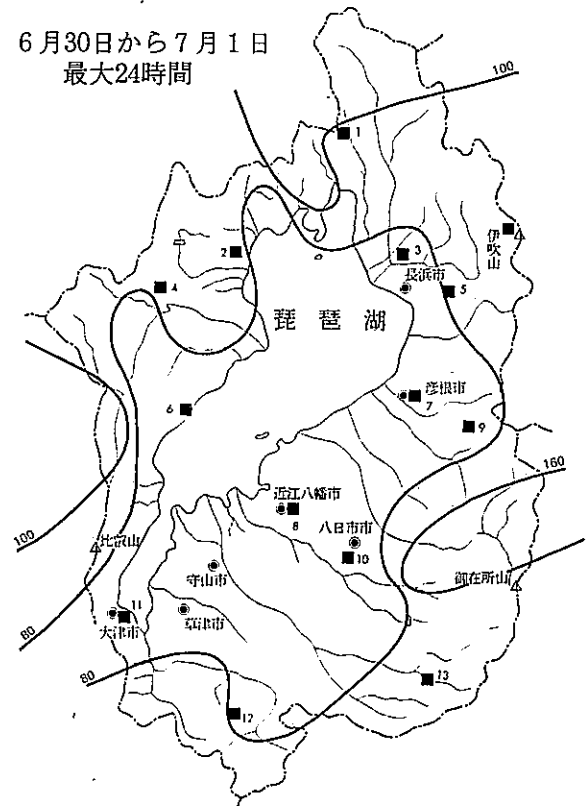
特に25日夜半から降り出した雨は湖南、湖西地方を中心に大雨となり25日の総雨量は上砥山で150mm、大津で148.5mm、永源寺で144mmを記録し、第1の降雨ピークを迎えた。この時の時間最大雨量は、大津で25日の午前2時から3時にかけて34.5mmを記録した。

その後、26日は雨は降らなかったものの、27日から再び降り始め、台風6号が接近した30日午後からは第2のピークを迎えた。30日午前7時から7月1日午前7時までの24時間雨量は政所で178mm、永源寺で160mm、椿坂で117mmに達したほか、各地で100mmを超した。

その後台風6号の北上により次第に天気は回復した。

【降水量分布図】

6月30日から7月1日  
最大24時間



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	1日
1	柳ヶ瀬	6	43	6	33	64	5	2	69	43	64	50
2	今津	1	26	10	55	69	—	5	62	19	51	33
3	虎姫	3	37	9	34	79	—	3	68	30	52	25
4	荒川	1	30	11	39	82	6	5	68	12	65	39
5	春照	2	56	19	53	115	—	4	44	41	73	25
6	北小松	4	38	11	30	86	—	1	62	27	64	28
7	彦根	4	54	9	46	88	—	3	41	30	56	16
8	近江八幡	12	50	8	24	93	—	1	34	37	62	13
9	霜ヶ原	2	80	13	23	125	—	2	26	25	63	26
10	蒲生	5	68	20	45	129	—	1	29	44	66	16
11	大津	6	85	13	31	158	—	1	29	46	40	13
12	信楽	3	89	19	13	153	—	—	22	19	78	14
13	土山	4	71	15	10	121	1	—	15	17	89	23

単位(mm)

No.	観測所	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
1	柳ヶ瀬	7	33	10	—	1	42	11	32	52	52	1
2	今津	7	49	4	—	1	11	2	41	24	24	2
3	虎姫	7	39	5	1	1	9	1	27	27	33	1
4	荒川	7	44	3	1	1	10	9	72	27	21	6
5	春照	8	48	12	—	3	12	1	8	31	18	1
6	北小松	9	40	2	—	3	3	1	48	31	32	12
7	彦根	7	35	2	—	2	5	7	24	57	17	6
8	近江八幡	8	30	3	—	3	—	1	52	22	1	11
9	霜ヶ原	7	30	6	—	4	6	8	24	30	18	13
10	蒲生	8	40	—	—	5	—	—	47	17	3	17
11	大津	12	83	2	—	16	1	8	3	10	1	13
12	信楽	16	27	—	—	17	—	9	6	7	1	31
13	土山	14	18	—	—	15	—	13	47	8	—	3

No.	観測所	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
1	柳ヶ瀬	68	46	—	—	—	—	34
2	今津	52	12	—	—	—	—	34
3	虎姫	49	18	—	—	—	—	31
4	荒川	34	10	—	—	—	—	34
5	春照	50	14	—	—	—	—	7
6	北小松	1	4	—	—	—	—	1
7	彦根	6	4	—	—	—	—	4
8	近江八幡	—	12	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	4	2	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	21	—	—	—	—	—
11	大津	—	22	—	—	—	—	2
12	信楽	—	9	—	—	—	—	3
13	土山	25	—	16	—	—	—	—

## (ウ) 出水の状況

25日午後9時頃から翌日の午前3時頃にかけて、各地の河川は増水し警戒水位を突破する河川が続出した。

特に日野川・野洲川・愛知川等の水位上昇が著しく漏水被害や護岸欠損が各所で続出した。

また、この梅雨前線および台風6号による大雨の影響により、琵琶湖の水位が上昇し、7月1日午前6時でプラス50cmと危険水位に達した。

【主要河川水位表】

河川名	観測所		警戒水位(m)	最高水位(m)	日 時
大戸川	大津市	黒津	2.5	2.75	25日午後11時
草津川	草津市	旭橋	0.8	2.0	25日午後10時
野洲川	水口町	水口橋上流右岸	1.35	1.61	26日午前1時
杣川	水口町	北杣橋下流右岸	3.0	3.26	25日午後11時
日野川	近江八幡市	桐原橋	3.0	5.01	26日午前0時
祖父川	竜王町	鴉川橋	1.5	2.3	25日午後9時
愛知川	愛知川町	御幸橋	1.5	1.84	26日午前1時
芹川	彦根市	恵比須橋	2.3	2.5	25日午後9時
安曇川	朽木村	船橋	1.7	1.93	25日午後10時
安曇川	朽木村	船橋	1.7	1.75	1日午前2時

(エ) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
大雨洪水雷雨注意報	22日午前1時30分	警報に切替
大雨洪水警報	25日午後8時20分	注意報に切替
洪水注意報	25日午後10時30分	26日午前5時50分
大雨洪水警報	28日午前5時20分	28日午前7時40分
大雨洪水雷雨注意報	30日午後4時20分	警報に切替
大雨洪水警報	1日午前0時20分	1日午後3時

(オ) 県の対策状況

種 類	配備時刻	解除時刻
第1号警戒体制	22日午前1時30分	2号体制に切替
第2号警戒体制	25日午後8時20分	1号体制に切替
第1号警戒体制	25日午後10時30分	26日午前5時50分
第2号警戒体制	28日午前5時20分	28日午前7時40分
第1号警戒体制	30日午後4時20分	2号体制に切替
第2号警戒体制	1日午前0時20分	1号体制に切替
第1号警戒体制	1日午前0時20分	1日午後3時

## (カ) 被害の状況

## a. 住家被害

区分・名称		棟	世帯	人	被災市町村(棟,世帯,人)
住家被害	全壊	5	5	16	甲西町
	半壊	3	3	8	甲西町(2,2,6), 甲南町(1,1,2)
	一部損壊	7	8	34	甲西町(2,2,8), 甲南町(1,1,6), 西浅井町(1,1,5)
	床上浸水	15	13	42	近江八幡市(3,3,11), 甲西町(5,5,16), 水口町(3,2,6), 伊吹町(4,3,9)
非住家被害	床下浸水	201	212	729	大津市(10,11,31), 近江八幡市(47,47,176), 草津市(38,41,142), 栗東町(4,19,31), 甲西町(9,8,33), 水口町(25,24,89), 安土町(3,3,5), 日野町(15,15,60), 伊吹町(13,9,35), 米原町(3,2,6), 木之本町(3,3,10), 西浅井町(2,2,8), 安曇川町(24,24,85), 高島町(4,4,18)
	公共建物	2			伊吹町(1), 余呉町(1)
その他	20			大津市(1), 甲西町(1), 伊吹町(13), 安曇川町(4), 新旭町(1)	

(注)非住家の( )欄の数字は棟数である。

甲西町甘子袋地区：町道を含む宅地造成法面が地すべり崩壊を起こし家屋8戸が全壊半壊し、33世帯、114人が避難した。このため、甲西町に災害対策本部が設置された。

伊吹町小泉地区：大阪セメントの原石による土砂流のため17世帯、58人が避難した。このため、伊吹町に災害対策本部が設置された。

## b. 農林水産・土木関係被害

区分・名称		ha	箇所	戸	被災市町村(箇所)
田	流失・埋没	4.9			県内各所
	冠水	1,264.7			県内各所
畑	流失・埋没	1.2			県内各所
	冠水	5.62			県内各所
その他	道路		137		大津市(21), 彦根市(3), 長浜市(1), 草津市(9), 志賀町(1), 栗東町(9), 石部町(17), 甲西町(11), 水口町(8), 土山町(4), 甲賀町(6), 甲南町(9), 信楽町(5), 蒲生町(3), 日野町(6), 竜王町(1), 永源寺町(1), 五箇荘町(1), 泰荘町(1), 多賀町(3), 伊吹町(6), 湖北町(2), 木之本町(2), 余呉町(4), 安曇川町(2), 高島町(1)
	橋りょう		5		石部町(1), 甲西町(1), 土山町(1), 五箇荘町(1), 米原町(1)
その他	河川		202		大津市(52), 彦根市(1), 長浜市(2), 八日市市(4), 草津市(11), 志賀町(1), 栗東町(4), 石部町(23), 甲西町(8), 水口町(14), 土山町(15), 甲賀町(12), 甲南町(12), 信楽町(18), 日野町(5), 豊郷町(1), 山東町(1), 近江町(1), 木之本町(1), 余呉町(8), マキノ町(2), 安曇川町(1), 高島町(5)
	砂防		22		県管理
その他	崖くずれ		66		大津市(15), 草津市(1), 志賀町(2), 栗東町(12), 石部町(3), 甲西町(12), 水口町(4), 土山町(1), 甲賀町(5), 信楽町(1), 木之本町(1), 余呉町(3), 西浅井町(1), 朽木村(4), 安曇川町(1)
	鉄道不通		1		八日市市
	水道			1	安曇川町

## c. り災者数・り災世帯数

名 称	世帯 人	被 災 市 町 村
り災世帯数	21	近江八幡市(3), 甲西町(12), 水口町(2), 甲南町(1), 伊吹町(3)
り災者数	66	近江八幡市(11), 甲西町(38), 水口町(6), 甲南町(2), 伊吹町(9)

## d. 被害金額

名 称	金 額 (千円)	名 称	金 額 (千円)
農林水産業施設	753,887	農 産 被 害	479,614.5
公共土木施設	4,375,436	水 産 被 害	35,000
その他の公共施設	333,218	《 被 害 総 額 》	5,977,155.5
〈 小 計 〉	5,462,541		

## e. その他の状況

路 線 名	区 間	規 制 内 容	規 制 日	復旧見込
野洲甲西線	甲西町花園	通行止	6/26 (1:30)	7/31
草津伊賀線	水口町三大寺	通行止	6/26 (2:30)	7/7 (未確認)
市場野田鳴線	老朽木村宮前坊	通行止	6/26 (11:30)	未定
甲賀土山線	甲賀町岩室 土山町前野 間	通行止	7/1 (3:00)	未定
飯浦大音線	木之本町飯浦	通行止	7/1 (4:30)	8/31
国道365号	余呉町 中之河内～椿坂	大型通行止 (除路バス)	6/30 (23:30)	8/31
奥びわ湖(有料)	全線(除く木之本～管浦)	通行止	—	7/11
鈴鹿(有料)	全線	通行止	—	8/ 中旬
槇山甲南線	甲南町下磯尾	大型通行止	—	7/15
大津南郷宇治線	大津市外畑町	片側通行	7/3 (16:00)	未定

路 線 名	通 行 止 区 間
国道8号線	木之本町飯之浦
国道365号線	余呉町椿坂～中ノ河内間
県道山東元巣線	伊吹町小泉
県道槇山甲南線	甲南町下磯屋
県道甲賀土山線	甲賀町岩室～土山町市場
国道367号線	大津市木戸口町～坂下町
県道彦根・近江八幡大津線	近江八幡市長命寺～国民休暇村
国道307号線	犬上郡甲良町西明寺(片側通行)
県道北府木勝野線	安曇川町出福(鴨橋)
県道中野河内木之本線	余呉口上丹生～菅並
県道飯浦大音線	木之本町飯浦



## 3. 雪 害

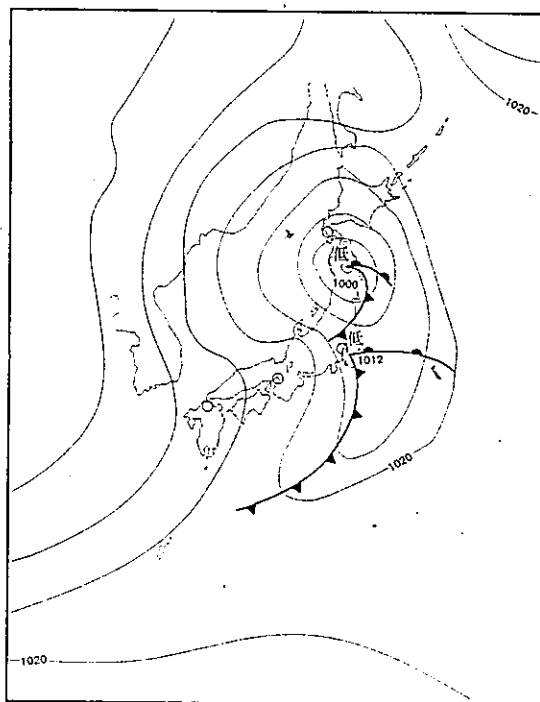
### (1) 雪害(1月1日から2月3日)

【1月28日午前9時の天気図】

#### ア. 気象の概要

1月3日に低気圧が日本付近を通過した後、4日には次第に冬型の気圧配置となり、日本海側では雨から雪に変わったところが多かった。その後、上空に寒気が入ったため冬型の気圧配置は強くなり、5日と6日に日本海側で雪が降り、7日も強い冬型の気圧配置が続き、雪が降った。

この強い冬型の気圧配置は、上空の寒気の流入もあって、13日まで続き、日本海側に大雪をもたらした。23日に弱い気圧の谷が通り、バイカル湖の東に1,042mbの高気圧があって南南東に張り出して、24日には日本海側の地方では前日からの雨が雪に変わり、冬型は25日も続いた。27日から28日朝のうちにかけて日本海を低気圧が通過した後、次第に冬型となり、28日は日本海側の地方で雨から雪に変わった。



#### 【気象台の観測積雪量】

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
1	柳ヶ瀬	126	115	106	92	94	112	128	116	113	110
2	今津	6	4	1	0	6	15	9	7	6	4
3	虎姫	35	30	27	25	28	47	49	42	40	37
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	22	15	13	10	13	15	30	29	27	25
6	北小松	—	—	—	—	18	7	0	—	—	—
7	彦根	—	—	—	—	11	6	1	0	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	5	0	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	7	0	—	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	—	8	0	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	—	1	0	2	0	1	0	—	—

## イ. 降雪の状況

1月の積雪量では、山間部の柳ヶ瀬で31日午前9時に132cmを記録したのが最大で、概ね100cmの積雪が1日から2月3日まで続いた。

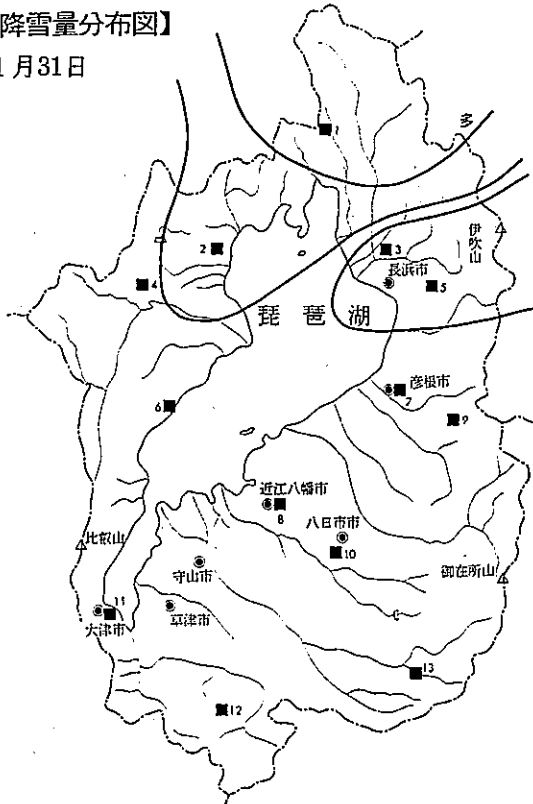
単位(cm)

No.	観測所	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	柳ヶ瀬	99	98	99	119	128	122	131	128	121	115
2	今津	0	—	—	—	10	3	12	12	7	3
3	虎姫	33	30	22	30	54	44	43	38	38	32
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	23	13	12	14	30	28	25	21	19	7
6	北小松	—	—	—	—	3	0	—	—	—	—
7	彦根	—	—	—	—	10	0	8	7	3	0
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

No.	観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	柳ヶ瀬	109	112	107	106	100	109	107	105	113	125	132
2	今津	0	—	—	—	—	9	3	0	—	12	28
3	虎姫	27	26	24	19	17	24	18	16	11	14	16
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	5	3	3	0	—	5	0	—	—	5	10
6	北小松	—	—	—	—	—	2	0	—	—	19	38
7	彦根	—	—	—	—	—	6	0	—	—	4	39
8	近江八幡	—	—	—	—	—	1	0	—	—	10	12
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	2	0	—	—	9	3
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	0
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	0
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	0

【降雪量分布図】

1月31日



【気象台観測所積雪量】

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日
1	柳ヶ瀬	12	117	112
2	今津	15	6	5
3	虎姫	13	9	6
4	荒川	—	—	—
5	春照	—	—	—
6	北小松	5	0	—
7	彦根	23	5	0
8	近江八幡	19	8	0
9	霜ヶ原	1	0	—
10	蒲生	—	—	—
11	大津	—	—	—
12	信楽	—	—	—
13	土山	—	—	—

ウ. 気象官署のとした処置

a. 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
大雪(北部)注意報	6日午後9時30分	7日午前6時45分
強風異常低温注意報	14日午後4時40分	切替
風雪(北部)注意報	14日午後9時10分	15日午前8時30分
異常低温注意報	14日午後9時10分	15日午前8時30分
風雪(北部)注意報	17日午前5時20分	17日午後7時30分
なだれ(北部)注意報	19日午前9時50分	切替
風雪注意報	29日午前4時45分	切替
大雪(北部)注意報	30日午後11時	31日午前6時20分

b. 気象情報

雪に関する気象情報	30日午前6時30分
-----------	------------

エ. 被害の状況

住家被害

名 称	棟	世帯	人	被災市町村
重 傷			5	浅井町, 木之本町, 余呉町
軽 傷			7	
一部破損	61	61	223	

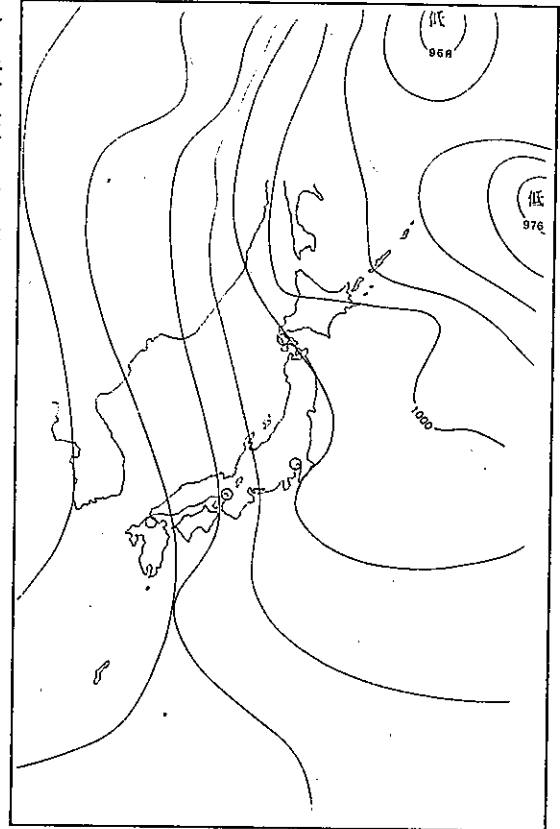
雪害(12月中旬)

(2) 雪害 (12月中旬)

ア. 気象の概要

14日に気圧の谷が通った後、中旬の後半は、モンゴル方面の優勢な高気圧が中国大陸や日本付近に張り出し、また、千島近海には発達した低気圧があって、冬型となり、一方、強い寒気も南下し、日本海側などで本格的な積雪となった。また、未明に寒気が西日本を通過したため、厳しい冷え込みとなった。17日は寒気が南下して日本海に入り、強い冬型となって季節風が強くなった。

【12月15日午後9時の天気図】

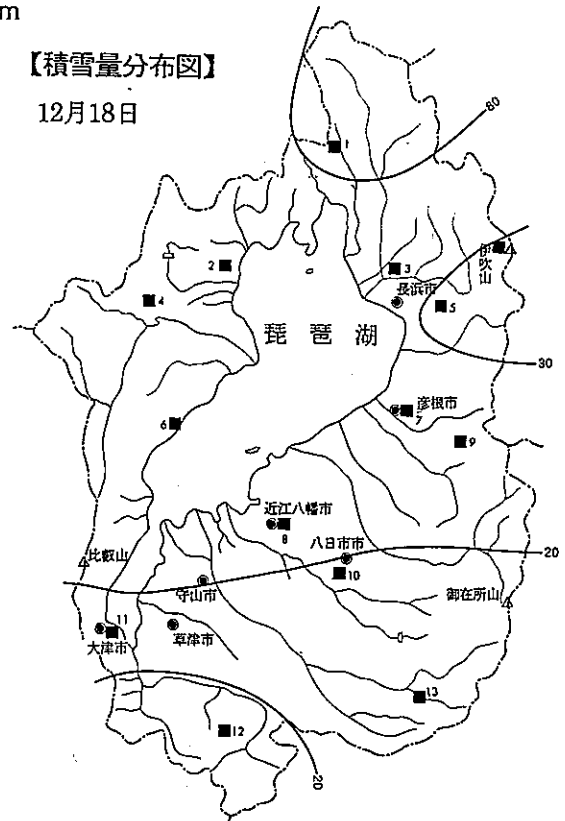


イ. 降雪の状況

山間部の柳ヶ瀬では18日午前9時に最大87cmを記録した。

【積雪量分布図】

12月18日



【気象台観測所積雪量】

単位(cm)

No.	観測所	10日
1	柳ヶ瀬	10
2	今津	6
3	虎姫	2
4	荒川	—
5	春照	5
6	北小松	7
7	彦根	13
8	近江八幡	2
9	霜ヶ原	—
10	蒲生	2
11	大津	0
12	信楽	—
13	土山	—

単位(cm)

No.	観測所	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	柳ヶ瀬	63	—	—	43	62	79	71	87	81	82
2	今津	3	1	—	—	—	13	8	23	19	14
3	虎姫	18	5	—	—	8	13	6	17	13	10
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	10	4	—	—	20	20	14	34	16	6
6	北小松	—	—	—	—	—	—	2	29	—	—
7	彦根	16	8	4	1	—	7	2	14	9	4
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	0	19	—	0
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	20	—	1
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	22	—	—
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	16	—	2
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	20	—	2

No.	観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	柳ヶ瀬	74	70	63	57	57	56	54	50	48	47	39
2	今津	11	7	3	—	—	—	—	—	—	—	—
3	虎姫	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	北小松	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## ウ. 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
風雪注意報	15日午前7時40分	16日午前9時40分
大雪強風注意報	17日午前8時45分	19日午後6時30分

## エ. 県の対策状況

## オ. 被害の状況

被害総額： 37,537千円

農林水産業施設被害総額： 31,749千円

農産被害総額： 5,788千円

## 4. 干害(8月~9月上旬)

### (1) 気象の概況

非常に優勢な太平洋高気圧がかなり北に位置して日本付近をおおったため、西日本および東日本では高温小雨の安定した夏型の天気となった。

県下でも俄雨はあったものの晴天続きとなり、これは9月上旬まで続いた。各地で高温が続き、彦根の8月の平均気温は27.9℃であった。8月6日をのぞいては連日真夏日が続いた。8月中の降水量は大津の2mmが特に少なかった。

### (2) 被害の状況

農産被害総額：225,320.5千円

## 5. ひょう害(9月6日)

### (1) 気象の概況

5日に日本付近を覆っていた太平洋高気圧は次第に東に移り、関東南東海上に後退した後、大陸から気圧の谷が接近し、6日の午前9時には日本海西部に前線を伴う低気圧が発生、発達しながらの日本海を北東に進んだ。また、6日には太平洋高気圧の縁辺を流れる暖気が南から入り、大気が不安定となった。このため、午後には雷、ひょうを伴う強い雨がいった。

### (2) 被害の状況

農産被害総額：880千円（朽木村）





## 昭和61年(1986年)の気象概況

年末から年始にかけて、冬型の気圧配置が続いたが、北部を除き晴れ間の多い天気であった。北部を中心に連日断続的に雪が降り、下旬に彦根で20cm、土山で17cmの積雪を観測した。

3月中頃より冬型の気圧配置もゆるみ、移動性高気圧の張り出しで晴れ間の多い天気であったが、全般に気温は低くこれは中頃まで続き、桜の開花も平年より4日遅い4月9日であった。近畿地方の梅雨入りは6月16日(平年6月8日)梅雨明けは7月27日(平年7月17日)で、梅雨期間中の総降水量は553.0mm(平年413.0mm)でやや雨が多かった。今年は太平洋高気圧の勢力が弱く、梅雨全線が停滞し長引いたが、梅雨明け後は安定した太平洋高気圧におおわれて、連日の猛暑で雨量も少なく、8月の降水量は5.5mmであった。9月下旬から10月中頃までは気温が高かったが、その他、冬型の気圧配置が周期的になり、初霜は10月20日で平年より25日早く、又初氷は11月28日に観測した。

12月に入って、周期的に冬型の気圧配置となるが長続きせず、12月27日に彦根で初雪を観測した。

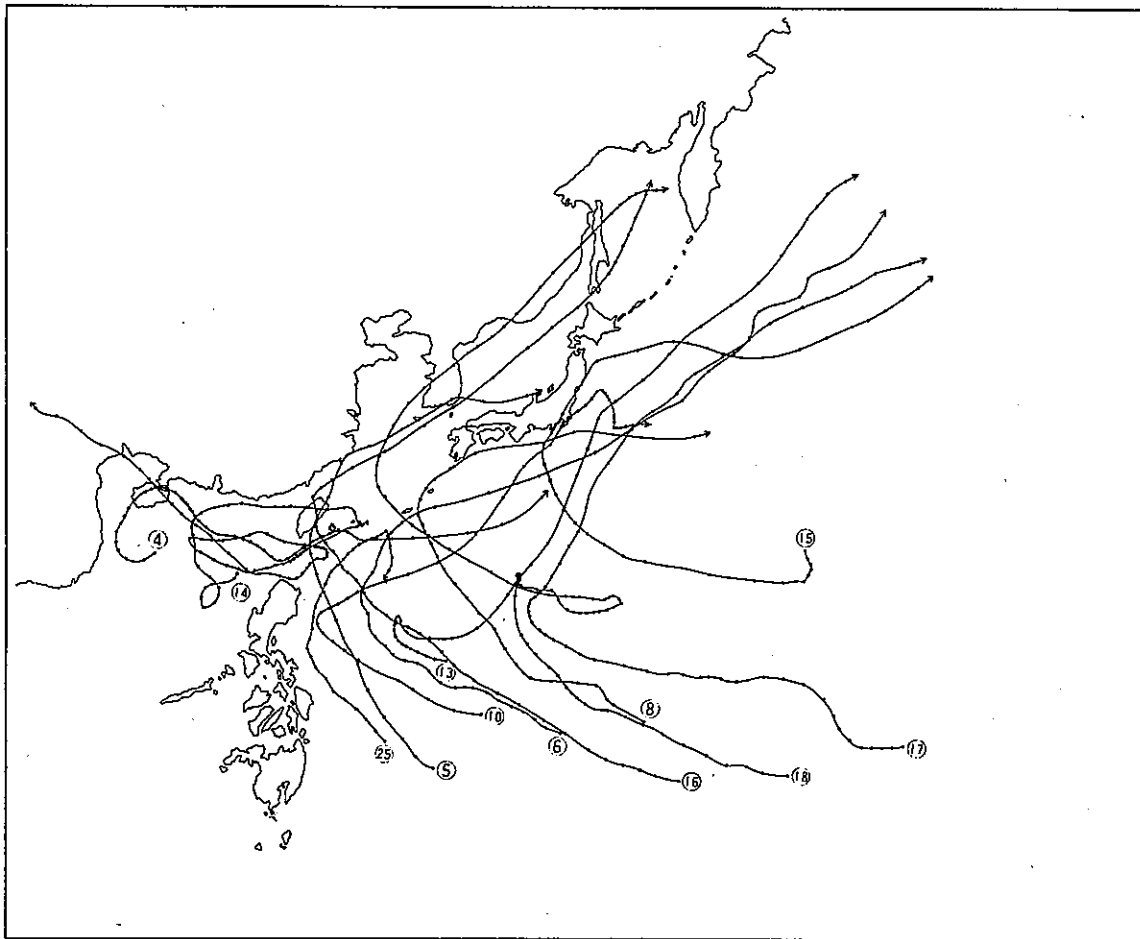
# 1. 台 風

## 台風の概況

本年、日本付近で発生した台風は29個で、日本に上陸したものはなかったが、10号をはじめとして、13号、15号は台風から低気圧に変わってから、各地に大雨や高潮などの被害をもたらした。

なお、本県では台風による被害はなかった。また、日本に影響を与えた台風の進路は、次の通りである。

【日本に影響のあった台風の経路】



【主要な台風の概要】

台風番号	4号	5号	6号	8号	10号	13号
最低気圧 (mb)	1,002.5	968.8	999.4	991.6	981.5	952.1
最大風速(m/秒)	10.7	19.8	11.2	20.4	17.9	30.5

台風番号	14号	15号	16号	17号	18号	25号
最低気圧 (mb)	991.1	995.0	992.8	954.6	993.7	1,008.6
最大風速(m/秒)	26.1	14.1	21.6	28.7	23.9	15.8

## 2. 豪 雨

### (1) 豪雨の状況

春は、西日本や南西諸島で前線上の低気圧などの影響により、所どころで大雨となったが、概ね一時的なものであった。梅雨に南西諸島では2、3度強い雨が降ったが、局地的な雨であったため、全般的な雨量は少なかった。梅雨前線は6月半ばから7月25日にかけて、九州から本州に停滞し、西日本では南からの暖湿気流がしばしば流入し、所どころで局地的な大雨があった。そのうち7月10日の鹿児島市で発生した集中豪雨は、続発したがけ崩れにより、18名の死者を出す大きな災害を起こした。7月20日から22日は山陰から近畿地方で、活発な梅雨前線によって大雨があり、がけ崩れ等の被害がでた。台風によるものでは、8月4日から6日に台風10号から変わった低気圧により、関東から東北地方で記録的な大雨となり、堤防の決壊、河川の氾濫等の大きい災害が発生した。

秋雨前線は9月中旬に、日本の南岸で活発になり、西日本など所どころで大雨があった。本年の特長として、それぞれの大雨はその地方の中で局地的に起った場合が多く、広範囲にわたった大雨は比較的少なかった。

なお、西日本で主な集中豪雨は、次の通りである。

月 日	場 所	主 な 原 因
3月22日から23日	伊豆諸島、西日本の一部	低気圧の東進による。
4月19日から20日	宮崎県	日本付近の深い気圧の谷による。
5月14日から15日	西日本から東日本にかけての太平洋側	低気圧を伴う前線が西日本を東進したため。
5月19日から20日	九州、四国、近畿地方	前線が活発化し、東進したため。
7月8日から13日	九州から近畿地方	梅雨前線の活発化。
7月20日から21日	山陰から近畿地方	梅雨前線の南側に暖かく湿った空気が流入したため。

### (2) 災害の状況

#### ア. 大雨(3月22日から24日)

##### (ア) 気象の概要

発達中の低気圧の通過により、強風を伴った雨が22日夕刻から降り始め、その後も雨は降り続いた。

この雨は湖南、甲賀及び湖東地方を中心に、特に山間部において激しく降ったが、翌日には移動性高気圧の接近により天気は回復した。

**梅雨前線豪雨  
(6月28日から30日)**

(イ) 降雨の状況

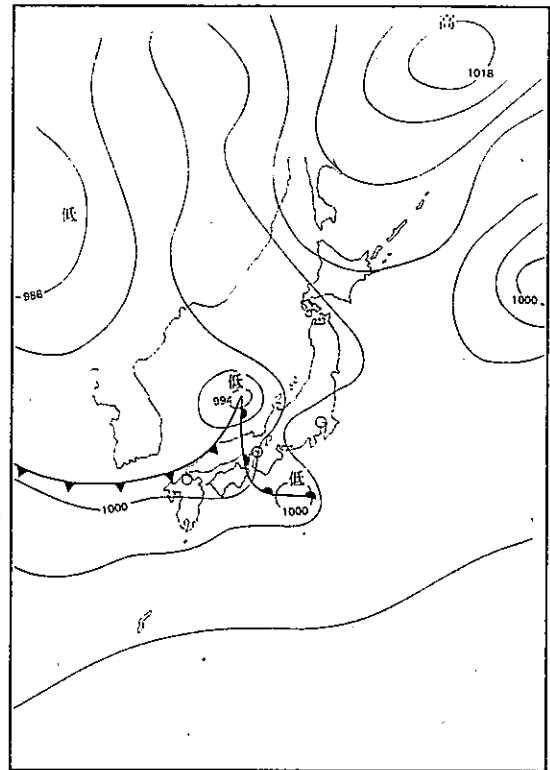
雨は、22日夕刻から湖南、甲賀及び湖東地方において激しく降った。  
特に山間部では激しい雨が降った。

イ. 梅雨前線豪雨 (6月28日から30日)

【6月29日午前9時の天気図】

(ア) 気象の概要

梅雨前線の停滞により、28日夜半頃から降り始めた雨は、次第に雨足が強くなり、特に29日朝方には湖南地方及び湖北地方では時間雨量が30mmから40mmという激しい降雨があった。その後も雨は各地で断続的に降り続き30日の昼頃、再び雷を伴って雨足はが強くなったが、梅雨前線の南下に伴い、夕刻にはおさまり天候は回復した。



(イ) 降雨の状況

雨は28日の夜半頃から県下全域で降り始め、30日の夕刻まで降り続いた。特に湖南、湖東及び湖北地方において激しく降り、草津、能登川、大河原、吉槻等の各観測所では1日の総雨量が100mmから125mmに達した。

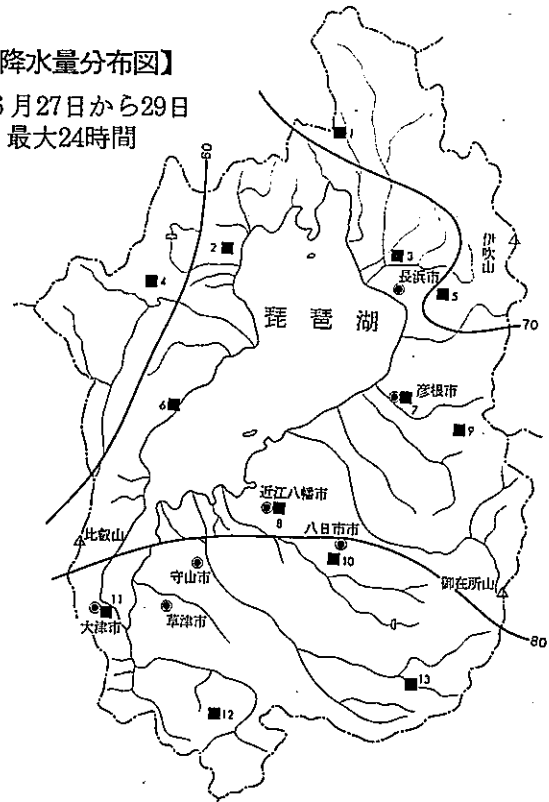
【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	28日	29日	30日
1	柳ヶ瀬	4	76	13
2	今津	7	62	25
3	虎姫	3	54	19
4	荒川	5	40	27
5	春照	3	76	26
6	北小松	8	65	13
7	彦根	4	63	17
8	近江八幡	6	72	15
9	霜ヶ原	2	66	12
10	蒲生	7	82	10
11	大津	14	83	10
12	信楽	14	81	1
13	土山	10	87	3

【降水量分布図】

6月27日から29日  
最大24時間



## 梅雨前線豪雨（7月9日から12日）

## (ウ) 出水の状況

この記録的な長雨と28日の夜半からの激しい降雨の結果、県下各地の河川の水位は警戒水位を突破した。

特に、6月29日の午後8時から10時にかけての激しい降雨により水位が上昇し、小河川においては各所で溢水氾濫した。

湖北地方を流下する黒田川、山田川の流域においては、護岸の欠損溢水等により家屋の浸水、田畑の冠水など被害が甚大であった。

また、出水により国道、主要地方道などが各所で通行止めになった。

## (エ) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

種 類	発 令 時 刻	解 除 時 刻
大雨洪水雷雨注意報	29日午前8時20分	29日午後11時40分
雷雨注意報	30日午後3時50分	30日午後8時20分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	29日午前8時20分	29日午後11時40分
第1号警戒体制	30日午後3時50分	30日午後8時20分

## 【7月10日午前9時の天気図】

## ウ. 梅雨前線豪雨（7月9日から12日）

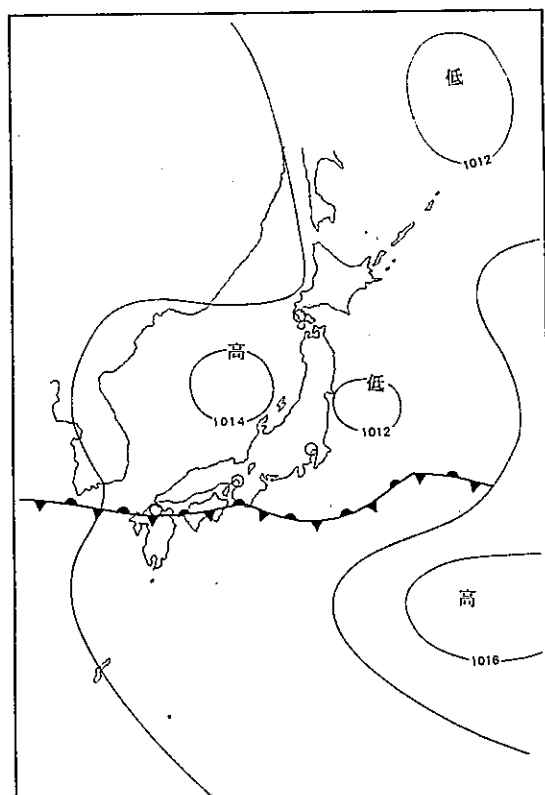
## (ア) 気象の概要

梅雨前線が西日本に停滞し、県下各地では7月9日の昼頃から雨が降り始め、その後も断続的に降り続いたが、7月13日朝方には収まった。

## (イ) 降雨の状況

9日の昼頃から降り始めた雨は、13日の朝方まで断続的に降り続き、その総雨量は、主に湖南、甲賀、湖東地方で多かった。

これらの地域では、時間雨量が山中及び野洲町で50mm、近江八幡市で42.5mm、大河原で47.0mm、熊野で49.0mmと特に激しい降雨であったため、河川の増水、溢水による被害が発生した。

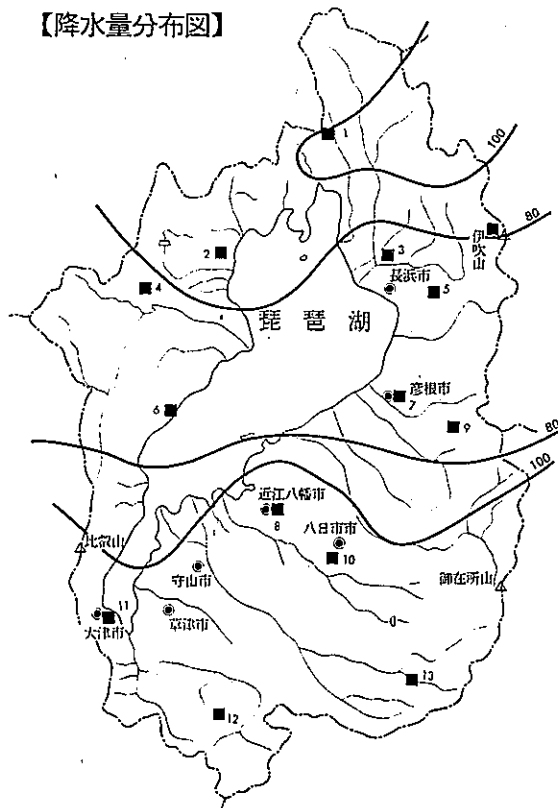


【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	9日	10日	11日	12日
1	柳ヶ瀬	7	19	12	42
2	今津	1	25	34	18
3	虎姫	1	26	27	11
4	荒川	1	33	47	29
5	春照	1	27	29	32
6	北小松	2	48	27	2
7	彦根	3	40	32	11
8	近江八幡	5	112	64	4
9	霜ヶ原	2	70	69	2
10	蒲生	6	129	72	2
11	大津	7	117	10	—
12	信楽	8	111	47	1
13	土山	7	137	15	5

【降水量分布図】



(ウ) 出水の状況

10日の朝方における激しい降雨は県下各地で時間雨量が20mmを超え、河川は増水し警戒水位を突破するものが続出し、小河川においては各所で溢水した。中でも湖南、甲賀、湖東地方では時間雨量が50mmに達する程の激しい降雨であったため、黒橋川、南砂川、大日川では溢水し、家屋の浸水、田畑の冠水等、甚だしい被害が発生した。

また、日野川においては警戒水位の突破により10日午前8時21分及び11日午後7時45分の2度に渡り水防警報が発令され、流域の住民は避難体制を敷く程の大出水となった。

【主要河川水位表】

河川名	観測所	警戒水位(m)	最高水位(m)	日時
日野川	近江八幡市 桐原橋	3.0	4.73	10日午後0時

(エ) 気象官署のとした処置

予警報の発令状況

種 類	発令時刻	解除時刻
雷雨注意報	9日午後2時	9日午後4時
大雨洪水雷雨注意報	10日午前1時	切替
大雨洪水警報	10日午前4時30分	10日午前10時50分
雷雨注意報	11日午前5時20分	11日午前7時20分

梅雨前線豪雨(7月21日から23日)

(オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	9日午後2時	9日午後4時
第1号警戒体制	10日午前1時	2号体制に切替
第2号警戒体制	10日午前4時30分	10日午前10時50分

エ. 梅雨前線豪雨(7月21日から23日)

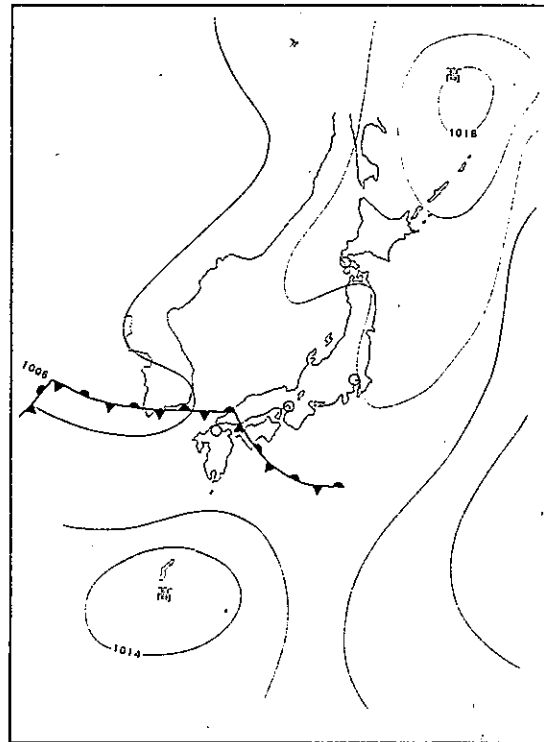
(ア) 気象の概要

20日から22日にかけて西日本に梅雨前線が停滞したため、県下では23日まで断続的に雨が降った。

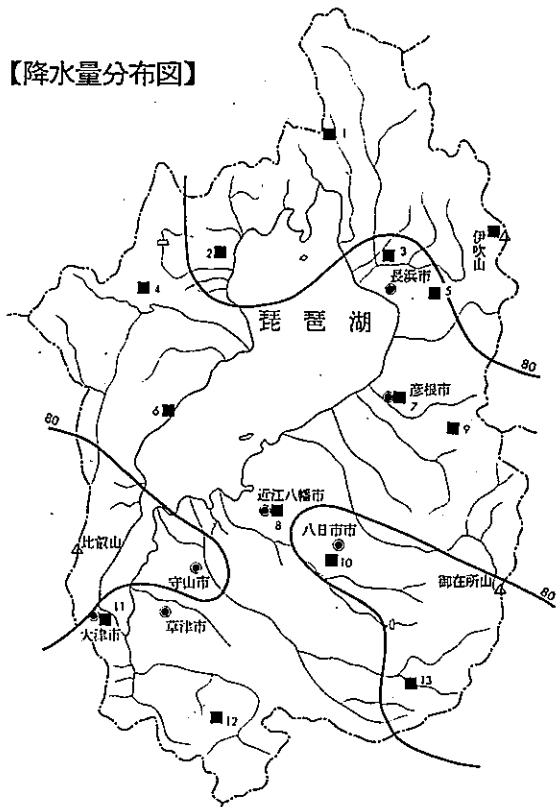
(イ) 降雨の状況

19日以降、断続的に降り続いた雨は21日の夕刻から本格的になり、県下では局所的に激しい降雨にみまわれ、時間雨量が20mmを超えるところもあったが、この5日間断続的に降り続いた雨も23日の昼頃には収まった。

【7月21日午前9時の天気図】



【降水量分布図】



【気象台観測所雨量】

単位(mm)

No.	観測所	21日	22日	23日
1	柳ヶ瀬	8	83	12
2	今津	35	53	—
3	虎姫	39	60	4
4	荒川	39	94	5
5	春照	37	55	9
6	北小松	21	82	2
7	彦根	42	70	11
8	近江八幡	19	59	5
9	霜ヶ原	49	81	18
10	蒲生	16	72	2
11	大津	38	106	7
12	信楽	51	115	13
13	土山	17	57	4

## (ウ) 出水の状況

19日から降り続いた雨と21日夕刻からの時間雨量が20mmを超える本格的な雨のため、県下の河川は増水し警戒水位を突破する河川が続出し、小河川では各所で溢水・氾濫し、田畑の冠水等の被害が発生した。中でも曾束川においては、大変強い降雨に見舞われたため河川の増水により、河岸の浸食、溢水等があり、田畑の冠水など甚だしい被害が発生した。

## (エ) 気象官署のとした処置

## a. 予警報の発令状況

種 類	発 令 時 刻	解 除 時 刻
大雨洪水雷雨注意報	21日午後7時20分	切替
洪水注意報	22日午前11時10分	切替
大雨洪水雷雨注意報	22日午後2時10分	警報に切替
大雨洪水警報	22日午後6時25分	注意報に切替
大雨洪水注意報	22日午後8時15分	22日午後10時30分

## (オ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	解 除 時 刻
第1号警戒体制	21日午後7時20分	1号体制に切替
第2号警戒体制	22日午後6時25分	2号体制に切替
第1号警戒体制	22日午後8時15分	22日午後10時30分

## (3) 被害の状況〔梅雨前線豪雨（6月28日～30日、7月9日～12日、7月21日～23日による被害）〕

## ア. 住家被害

区分・名称	棟	世帯	人	被 災 市 町 村 (棟,世帯,人)	
住 家 被 害	一部損壊	3	2	9	草津市
	床上浸水	8	8	34	大津市(4,4,20),近江八幡市(4,4,14)
	床下浸水	425	431	1,606	大津市(26,27,98),志賀町(3,3,14),草津市(176,186,651),守山市(57,57,195),栗東町(12,12,55),野洲町(4,3,16),石部町(3,3,10),甲西町(2,1,3),水口町(66,63,258),土山町(2,2,9),甲南町(2,2,12),信楽町(1,1,5),近江八幡市(52,52,203),八日市市(4,4,12),日野町(11,11,43),永源寺町(2,2,15),五個荘町(2,2,7)
非 住 家	公共建物	4			大津市(2),水口町(1),近江八幡市(1)
	その他	25			草津市(8),栗東町(4),近江八幡市(11),八日市市(1),竜王町(1)

(注)非住家の( )欄の数字は棟数である。



## イ. 農林水産・土木関係被害

区分・名称	ha	箇所	回線	戸	被災市町村
田	流失・埋没	0.1			大津市
	冠水	549.4			県内各所
畑	冠水	64			県内各所
その他	学校		2		草津市大津市, 志賀町,
	道路		85		草津市, 野洲町, 水口町, 八日市市, 彦根市, 泰荘町, 多賀町, 長浜市, 米原町, 木之本町, 今津町, 安曇川町, 高島町, その他
	橋りょう		3		大津市, 志賀町, 野洲町, 水口町, その他
	河川		311		大津市, 志賀町, 草津市, 野洲町, 水口町, 八日市市, 安土町, その他
	砂防		2		県管理
	清掃施設		1		八日市県事務所管内
	崖くずれ		38		県内各所
	電話			600	県内各所
	電気				7,000 県内各所
	ブロック塀		1		志賀町

## エ. 被害金額

名称	金額(千円)
公立文教施設	10,965,700
その他の公共施設	28,910
< 小 計 >	10,994,610
農産被害	47,247
その他	7,500
< 被害総額 >	11,049,357

## ウ. リ災者数・リ災世帯数

名称	世帯	人	被災市町村
リ災世帯数	8		大津市, その他
リ災者数		34	

## オ. その他の状況

消防機関の活動状況	(栗東町) 7/10町消防団の第4分団が出勤し葉山川堤防の水防作業に従事
	(草津市) 7/10, 22, 23町の出勤要請により出勤被害確認、道路等の損壊、地域の応急復旧措置 7/10水防活動
	(中部消防-4市町村) 7/10-126名, 7/22-37名の出勤
	(中部消防組合) 近江八幡、八日市市、日野各消防署 6/29-2名, 7/9-10名~13名, 7/21.22-6名の出勤

大雪(1月1日から2月15日)

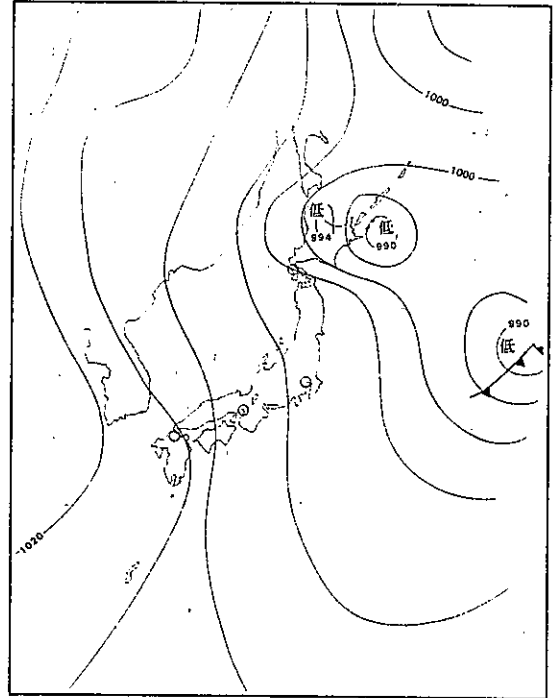
# 3. 雪 害

## 大雪(1月1日から2月15日)

### (1) 気象の概況

1月中旬後半に大陸の高気圧が移動性となって日本付近を通過した後、21日本州の南岸を低気圧が東進、北海道付近にも低気圧があって発達した。また、モンゴル西部に中心をもつ大陸の高気圧が張り出し、シベリア東部にある上空の寒気がゆっくり南下して、冬型の気圧配置が強まり21日夜には中国・近畿地方北部の日本海側や山沿いで雪が降り始めた。翌22日は冬型の気圧配置が強まり、近畿・中国地方の北・中部は雪模様の天気となり北部では翌日の朝まで続いた。このため、本県北部では、21日夜から23日朝にかけて虎姫や春照で積雪が30cmを越えるなど大雪となった。

【1月22日午後9時の天気図】

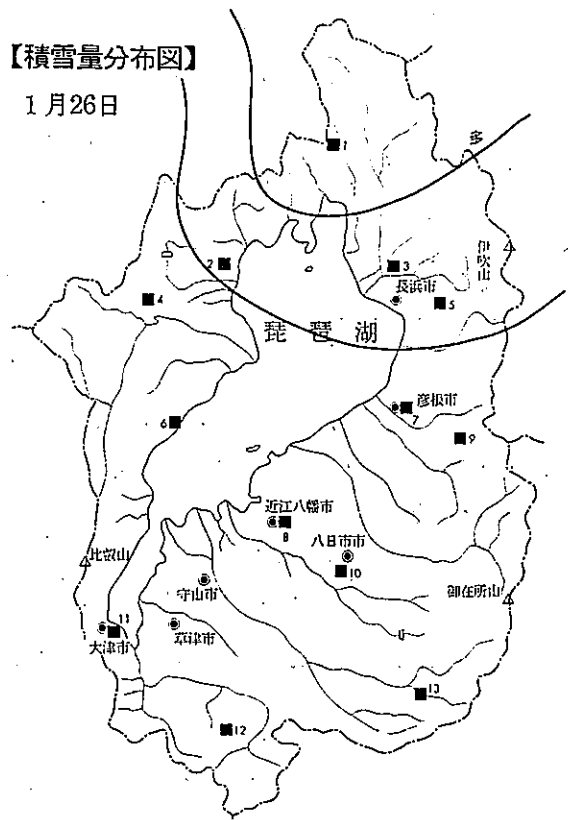


### (2) 降雪の状況

21日は正午前まで晴れていたが午後には雲が拡がり、彦根では22日未明から23日明け方にかけて雪となり、特に午後から未明にかけて時々強く降った。23日の午前9時の積雪は虎姫で31cm、春照で30cmを観測、山間部の柳ヶ瀬で100cmを越えるなど、県北部で大雪になった。24日は雪も小康状態となったが、25日の午後には季節風が強まり県北部で再び大雪となって翌朝までに新たに20~30cm位積り、26日の午前9時には今津でこの冬一番の積雪47cmを観測し、春照で50cm、虎姫で45cmとなった。その後も28日頃まで強い季節風が吹き込み、降雪が続いたため、積雪は28日の午前9時には春照で64cm、虎姫で60cmに達し、また、27日の午前9時には山間部の柳ヶ瀬で200cmには達するこの冬の最深積雪を記録した。

【積雪量分布図】

1月26日



## 【気象台の観測積雪量】

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
1	柳ヶ瀬	36	43	63	58	49	49	55	51	58	53
2	今津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	虎姫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	北小松	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

No.	観測所	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
1	柳ヶ瀬	67	92	80	94	90	82	78	73	69	68
2	今津	—	4	—	5	4	—	—	—	—	—
3	虎姫	—	4	—	6	3	—	—	—	—	—
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	—	8	5	—	—	—	—	—	—	—
6	北小松	—	18	—	16	—	—	—	—	—	—
7	彦根	—	10	—	6	4	—	—	—	—	—
8	近江八幡	—	0	—	5	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
12	信楽	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—

No.	観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	柳ヶ瀬	65	65	102	118	110	141	200	192	185	169	155
2	今津	—	5	23	18	13	47	44	39	28	22	18
3	虎姫	—	—	309	23	21	50	55	64	56	44	39
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	—	14	31	18	25	45	53	60	48	35	30
6	北小松	—	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	—	—	18	4	2	13	5	9	1	—	—
8	近江八幡	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	0	—	—	—	—	0	—	—	—	—
12	信楽	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

単位(cm)

No.	観測所	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
1	柳ヶ瀬	142	142	136	159	182	197	184	178
2	今津	14	12	11	9	7	7	8	5
3	虎姫	32	27	26	27	25	38	27	25
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	25	20	15	30	25	35	30	28
6	北小松	—	—	—	—	—	—	—	—
7	彦根	—	—	—	—	—	—	1	—
8	近江八幡	—	—	—	—	—	—	0	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	—	—	—	—	—	—	—
11	大津	—	—	—	—	—	—	—	—
12	信楽	—	—	—	—	—	—	2	—
13	土山	—	—	—	—	—	—	—	—

No.	観測所	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
1	柳ヶ瀬	196	190	182	178	170	165	159
2	今津	3	11	7	6	2	—	—
3	虎姫	23	26	23	22	20	18	15
4	荒川	—	—	—	—	—	—	—
5	春照	22	16	10	8	12	20	16
6	北小松	—	2	—	—	—	—	—
7	彦根	—	3	—	—	—	—	—
8	近江八幡	0	—	—	—	—	—	—
9	霜ヶ原	—	—	—	—	—	—	—
10	蒲生	—	1	—	—	—	—	—
11	大津	0	0	—	—	—	—	—
12	信楽	—	3	—	—	—	—	—
13	土山	—	1	—	—	—	—	—

## (3) 気象官署のとした処置

## 予警報の発令状況

1月	種 類	回数	日 時
	風雪注意報	3回	13日, 22日, 25日
風雪注意報(北部)	2回	11日, 25日	
大雪注意報	1回	11日	
大雪注意報(北部)	4回	22日, 25日, 26日, 27日	
なだれ注意報(北部)	3回	26日, 27日, 28日	

2月	種 類	回数	日 時
	風雪注意報	4回	3日, 15日, 23日, 28日
	風雪注意報(北部)	1回	27日
	大雪注意報	1回	9日
	大雪注意報(北部)	3回	9日, 24日, 28日
	大雪注意報(南部)	1回	18日
	なだれ注意報(北部)	24回	3日, 4日, 6日, 9日(2), 10日, 11日, 12日, 14日, 15日(3), 16日, 18日(2), 23日, 24日(2), 25日(2), 27日(2), 28日(2)

## (4) 被害の状況

## 住家被害

区分・名称	棟	世帯	人	被災市町村(棟, 世帯, 人)	
重 傷			1	長浜市	
住 家	一部損壊	45	45	196	浅井町(4, 4, 16), 高月町(28, 28, 125), 木之本町(8, 8, 34), 余呉町(4, 4, 17), 西浅井町(1, 1, 4)
	床下浸水	4	4	14	高月町(1, 1, 2), 余呉町(3, 3, 12)
非住家	その他	6			長浜市(2), 高月町(4)

(注)非住家の( )欄の数字は棟数である。

霜害(4月17日)

## 4 . 凍 霜 害

霜害(4月17日)

(1) 気象の概要

移動性高気圧におおわれて晴天がつづいていたが、寒気の流入でやや低温となった。

(2) 被害の状況

農産被害総額：2,700千円(伊吹町)

## 5. 干害(8月1日から9月30日)

### (1) 気象の概要

8月7日に、日本海中部と九州の南海上の高気圧がやや強まってきて、西から次第に乾燥状態が続くようになった。

高気圧による晴天は、台風や前線の影響による一時的な雨を除いて、全般的に続き、乾燥した南西風が流れこみ、農作物等の被害が発生した。

### (2) 被害の状況

農産被害総額：44,271千円

風害(5月29日から30日)  
冷害(6月15日から7月10日)  
風害(12月19日から28日)

## 6.その他

### (1) 風害(5月29日から30日)

#### ア. 気象の概要

日本をおおっていた高気圧が東に進んだ後、28日華南の前線上に低気圧が発生した。翌29日にはこの低気圧が上空の気圧の谷と共に急速に発達しながら東シナ海を東北東に進んで、午後9時九州北部に達した。この低気圧からのびる前線の接近した28日午後から四国南部で雨が降り始め、29日の朝には西日本全域で雨となり、また、29日夕方から夜半頃にかけて、南から東寄りの強い風が吹いた。

#### イ. 被害の状況

農産被害総額：21,929千円(草津市)

### (2) 冷害(6月15日から7月10日)

#### ア. 気象の概要

6月前半は、移動性高気圧の張り出しで、やや温暖であったが、後半には寒気の流入で寒くなり、7月にはいっても、梅雨前線と寒気の流入でやや寒くなった。

#### イ. 被害の状況

農産被害総額：802千円

### (3) 風害(12月19日から28日)

#### ア. 気象の概要

17日まで日本付近をおおっていた高気圧が東海上に去り、黄海に低気圧が発生し、発達しながら山陰沖を北東に進んだ。この低気圧は次第に閉塞し、18日の午後9時には、四国付近の閉塞点上に低気圧が発生した。これらの低気圧は更に発達しながら日本付近を通過した。このため、西日本では南西の強い風が吹き、風雨も強まった。

#### イ. 被害の状況

農産被害総額：366千円(草津市)